



THE BRAIN

湘南藤沢キャンパス 教員プロフィール

2018

KEIO SFC REVIEW

No.67

THE BRAIN

KEIO SFC REVIEW // No.67

KEIO SFC REVIEW 特別企画 湘南藤沢キャンパス教員プロフィール

本企画では、タイトルに示すとおり、SFCの頭脳である各教員の担当する授業の内容や、これまでの研究活動、また研究以外に何に興味を示しているかなど単なる授業紹介に留まらない多くの情報が詰まっている。多彩な教員のプロフィールを知ること、これまで以上にSFCで学ぶことの意義を実感できるはずだ。学生にとっては、接点のない教員の情報に触れることはあまりないと思われるが、それらを知ることによって何らかの新たな気づきがあるだろう。さあ、さっそくページを開いて教員の頭の中を覗いてみよう。

CONTENTS

02 *Shonan Style*

湘南藤沢キャンパスにある3学部・2研究科を、編集委員の視点で紹介する

08 特集 THE BRAIN

08 本号の読み方 (How to Read)

11 総合政策学部 / 環境情報学部 / 政策・メディア研究科の教員

95 看護医療学部 / 健康マネジメント研究科の教員

114 *Index*

気になる教員や、自分の学びたい専門分野に合わせた検索

114 教員名別

120 教員の専門分野別

126 編集部からのお知らせ

126 KEIO SFC REVIEW、新企画「SFC川柳」

127 編集委員募集



Please follow us : @ KEIO SFC REVIEW

次号情報や活動情報を Twitter で配信中

Shonan Style

湘南藤沢の森を歩く



多様な教員を揃える湘南藤沢キャンパス。カリキュラム面でもその多様さを感じることができる。今回は、キャンパスに在籍する現役の学生（編集委員）がその魅力にフォーカスする。

keyword 問題解決

慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス（通称：SFC）は、1990年の開設以来、複雑で多様化する社会に対して様々な分野を連関させながら、問題解決をはかることを目的に、先進的な教育プログラムを行ってきた。特に福澤諭吉先生の「半学半教」という言葉にあるように、教員が学生に何かを一方的に教えるスタイルではなく、教員と学生が共に考えながら課題に取り組むスタイルは、SFCを支える柱と言えるだろう。

本号の教員プロフィールでは、キャンパスの教員を紹介するが、その前にこの教員の多様性を支えるカリキュラムシステムについて紹介をしたい。

Join us!

編集委員募集

KEIO SFC REVIEW では、本誌の企画・編集を行う編集委員を募集しています。詳しくはp127をご覧ください。

Shonan Style

01

編集委員がみる湘南藤沢キャンパス①

総合政策学部 / 環境情報学部



SFCを「森」に喩えてみる。

平成の大学改革を先導してきた総合政策学部と環境情報学部（以下「2学部」）。「文に融合した理系」、「理に融合した文系」という言葉に表されるように、2学部の学生が学部を横断して学ぶことができるカリキュラムは、様々な分野にまたがる実社会の課題を解決することを目標としている。しかしそのカリキュラムやシステムは、初めてSFCに触れる人にとっては新鮮ではあるがわかりにくいモノだ。本号ではSFCを理解する一助として教授陣を紹介していく。その前菜としてSFCを「森」に例えながら、編集部なりにその特徴を紹介していきたい。

森をみて、木もみる。

いままでの学問は専門性を高めるがゆえ、分野に特化した視点で研究が繰り返されてきた。しかし実社会の課題は、複数の分野にまたがったものが非常に多くある。「木をみて、森を見ず」という言葉のように、一部にフォーカスし全体を見失うのではなく、2学部では分野横断的なカリキュラムを採用することで、全体のバランスを見て社会課題への解を探求している。

二学部のカリキュラムスタイル

レベル別に分けられた授業を必要に応じて受講する。



「総合政策学部/環境情報学部 2018」のパンフレットを参考に編集部が一部作成

君たちはどう森を歩むか

2 学部のカリキュラムの特徴のひとつにあげられるのが、必修科目の少なさである。通常、大学のカリキュラムは必修科目に沿って、卒業までのルートがある程度示されている。しかし2学部は必修科目が少ないがゆえに、4年間のカリキュラムを自由にデザインすることができる。さらに総合政策学部に入學しても、環境情報学部に入學しても、1年生でも4年生でも受講できる科目にほぼ制限はない。総合政策学部生がバイオの研究をしても良いし、環境情報学部生が法律を学んでも良い。SFCという大きな学問の森を歩む学生は、自らの研究にとって必要と感じる授業や研究会を、まさに森でのこぼりをするように、自由に選択することができるのである。

Shonan Style
02

編集委員がみる湘南藤沢キャンパス②

政策・メディア研究科



SFCの大学院研究科の1つ、「政策・メディア研究科」は、社会のニーズに応える専門知識と実践的な問題発見・解決能力を身につけたプロフェッショナルの養成を主目的としたカリキュラムが展開されている。大学院生は8つの専門領域から1つを選択し、そこに所属しつつも、分野を横断することも可能であり、それぞれの方法で課題解決へのアプローチを図ることができる。1997年にご退職された江藤淳元教授は、最終講義の中で本研究科について以下のように話している。「～前略～(修士課程の教育について)学生のしたいことは何であるかをじっと見て、学生にやらせなければダメじゃないですか。学生がやりたいことをじっと見ていてやれば、優れた学生は必ず何かをやりだします。～中略～ソクラテスが対話をしたようなやり方で、1人ひとりの学生と向き合ってやれば、諸君ほどの頭脳があれば必ずいいものが出てくるはずですよ。～中略～教育の原点は、人が人を教えるのです。人が人と向かい合うのです。人が人のしていることをじっと見るのです。～後略～(本誌第8号より抜粋)」と。この言葉からうかがえるようにSFCは学部にしても、大学院にしても、教員と学生の距離が近いことが特徴的だ。

本号では本研究科の研究支援科目(概念構築科目、先端研究科目)、プログラム科目、特設科目を各教員の担当授業欄に掲載している。

Shonan Style
03

編集委員がみる湘南藤沢キャンパス③
看護医療学部



SFC を紹介する上で忘れてはならないのが看護医療学部である。1918 年に創設された医学科付属看護婦養成所をルーツにもつ本学部は、幾多の名称や機構の変遷を経て、2001 年に看護医療学部として SFC の地に開設された。

実習に重点を置き、総合大学の強みを生かした 21 世紀の看護教育

看護医療学部の最大の特色は、高い看護実践能力の習得を目指し、「実習」に重点を置いていることである。1・2 年次には、看護を実践するための基礎的技術を習得しつつ、様々な病院や医療福祉施設等を実習施設として利用し、地域で生活する人々の健康問題について理解を深める。キャンパス内には、在宅看護実習棟が設置され、自宅訪問を想定した演習を可能にしているのも特徴だ。そして 3 年次には、慶應義塾大学病院のある信濃町キャンパスで、SFC で学んだことを踏まえた実習科目を履修し臨地実践を行い、高い看護実践能力の習得へとつなげている。

では、本学部の SFC らしさはどのような点にあるのだろうか。

本学部のカリキュラムには、看護における専門的な教育に加え、情報や政策関連の授業も設置されている。学生は総合・環境の 2 学部の授業も履修することができ、看護医療をとりまく問題を包括的に考えることができる。本誌第 19 号で吉野肇一看護医療学部長は、「看護学とは、端的に言えば人文科学と自然科学が融合した実学」であると述べている。そのような概念かつ、看護という専門分野に属しながらも幅広い視野を持った人材を育てる環境が備わっている本学部は、まさに SFC らしい学部と言えるだろう。

Focus 医療系三学部合同教育

本塾は 1917 年の医学部の前身である医学科創設以来、医療の分野において総合大学の強みを生かし、他学部との強固な連携に基づいた世界を先導する創造性あふれる研究を進めてきた。2001 年には 1918 年に創設された医学科付属看護婦養成所をルーツにもつ「看護医療学部」を、2008 年には共立薬科大学と合併して「薬学部」を開設し、医療系 3 学部が揃った。そのような中、近年の医療では、専門分化が進む一方で、専門職同士のコミュニケーション、患者を中心としたチーム医療の重要性が増している。それを受け本学部では、学生の時から複数の医療系学部学生同士で学ぶ「医療系三学部合同教育」を 2011 年よりスタートさせている。

詳しくは : <http://ipe.keio.ac.jp>

Shonan Style
04

編集委員がみる湘南藤沢キャンパス④

健康マネジメント研究科

2005 年に開設された健康マネジメント研究科は、健康を軸に保健・医療・福祉に関わる幅広い領域で先導的な教育・研究を展開している。2018 年 4 月に、専攻が「看護学専攻」と「公衆衛生・スポーツ健康科学専攻」の 2 つにわかれた。看護学専攻は、看護ケアの新しいあり方を開発・構築し、深遠な知識、卓越した技術および柔軟な発想をもって実践できる人材を、公衆衛生・スポーツ健康科学専攻は、科学的方法に基づく高度なマネジメント力や多様性・多文化への配慮と高い職業倫理観に基づくリーダーシップを備えた人材の育成を目的としている。なお、本誌では 11 名の本研究科専任教員を掲載しているが、詳しい授業やカリキュラム情報は本研究科 HP をご参照いただきたい。

ホームページ : <https://gshm.sfc.keio.ac.jp>

Focus MBA-MPH プログラム (デュアルディグリープログラム)

2018 年 4 月より、本研究科と本塾経営管理研究科の 2 研究科により、最短 3 年で 2 つの修士学位が取得できる「デュアル・ディグリー制度」をスタートさせた。本制度は公衆衛生とビジネスの融合により、双方に通じた人材を育てることを目的としている。

how to read

本号の読み方

Check Point 1 専門分野で教員を探せる。

藤沢 太郎
環境情報学部教授

専門分野: 藤沢学

メールアドレス: keio-sfc-review@sfc.keio.ac.jp

担当授業:

藤沢学基礎	春
鴨池活用ワークショップ	秋
地域と社会 (遠藤地区)	GIGA I
遠藤地区概説	信濃町
遠藤地区構想	目吉
修士研究会	黒

意気込み授業: 遠藤地区概説

Check Point 2 授業が一目でわかる。

意気込み授業 遠藤地区概説

慶應義塾大学湘南藤沢キャンパスのある藤沢市遠藤地区は、全体の約3割が農地と山林で占めるなど豊かな自然に恵まれているのが特徴です。また西部には本学湘南教員が一番力を入れている授業がわかる「意気込み授業」

Check Point 3

専門分野にたどり着くまで

もともと藤沢市都市整備部の職員として働いておりました。こちらのキャンパスで教員の意外な一面が見れる記事や写真

Check Point 4

座右の銘 座右の銘がここに入ります。

説明がここに入ります。

お気に入りの写真

遠藤地区の子どもたちの写真

学部イメージカラー・掲載順

ページ番号 11 93 (95) ... (113)

■ 総合政策学部 ■ 環境情報学部 ■ 看護医療学部
■ 政策・メディア研究科 ■ 健康マネジメント研究科

各教員の本務となる学部・研究科を反映しております。P11 - P93には総合/環境/政・メの教員を、P95 - P113には看護/健マネの教員を掲載しております。

担当授業 見方

※担当授業は、2018年9月11日時点の情報です。
※看護医療学部は授業以外にも、実習と演習がありますが、ここでは一部省略しております。

- 講義の開講学期を表しています。

春	春学期のみ開講
秋	秋学期のみ開講
通	春・秋学期の両方で開講 ※SFCでは授業は半年で完結します。
- データサイエンス科目を表しています。

DS1	データサイエンス 1
DS2	データサイエンス 2
- 講義の開講キャンパスを表しています。

信濃町	信濃町キャンパス	目吉	目吉キャンパス
TTCK	鶴岡タウンキャンパス	SFC 信濃町	SFCと信濃町キャンパスで開講
TTCK SFC	SFCで遠隔授業を開講		
- GIGA科目の種別を表しています。

GIGA	GIGA科目	GIGA	GIGA科目
GIGA G	GIGA GOVERNANCE科目	GIGA G	GIGA GOVERNANCE科目
GIGA I	GIGA INFORMATION科目	GIGA I	GIGA INFORMATION科目

GIGAのみの開講の場合 同一授業名で日本語とGIGAの両方が開講される場合
春学期は日本語・秋学期はGIGAのようなパターン

その他 見方

- 教員の顔写真を掲載しております。
P114 - P119では顔写真とともに教員名索引があります。
- A/B は、学部の研究会を示しています。
研究会AはAとなり、研究会BはBとなります。
- 色のついたバーは「意気込み授業」と連動しています。
- 黒いバーは、「大学院」の授業を示しています。
プロジェクト科目・アカデミックプロジェクト科目・修士研究会・特別研究（博士）海外研修科目[学部]・その他一部の科目は掲載していません。
- 教員名の下の色は、学部イメージカラーと連動しています。

左ページを参照





総合政策学部
環境情報学部
政策・メディア研究科

MASASHI AONO
ATSUSHI AOYAMA
MIKI AKIYAMA
YASUSHI IKEDA
YOSHINORI ISAGAI
HAJIME ISHIKAWA
TOMOHIRO ICHINOSE
SHINICHI UHEYAMA
JUNICHI USHIYAMA
SAITO KOIKI
YUJI HIGASHI
TAKASHI OSAKA
TAKUYA ONISHI
TOSHIO OHORIE
MANABU OMAE
TARO OZAKA
MASAAKI KATAOKA
TAKAAKI KATO
FUMITOSHIO KATO
AKIO KANAI
NORICHIKA KANIE
HIDEYUKI KAWASHIMA
TAKESHI KAWAZOE
YASUSHI KIYOKI
TAKAHIRO KUNIEDA
HIROKI KUWAHARA
TAKEO KUWAHARA
WANG LIN YAN
JIRO KOKURYO
MASAHIRO KOTOSAKA
KUNITAKI SAVAGE
YUICHIRO SHIMIZU
SAYURI SHIRAI
YUKIO SHIRAI
KUNO JIMBO
RUMI SHIMPO
KANHIRO SUZUKI
MASAKI SUWA
TOMOSHISOGAI
TAKESHI TAKAGI
KAZUNORI TAKASHI
REIJIRO TANAKA
HIROYUKI TANAKA
YUKO TOUKIRI
MASAHITO NAITO
MASUHIKO NAITO
IN NAKAYAMA
ASASU NAKANISHI
YASUTO NAKAYAMA
YUKO NAKAYAMA
TOSHIHIRO NAKAYAMA
HASUMI NISHIKAWA
THAO NISHIKAWA
YOSHINO NISHIKAWA
YOSHINO NISHIKAWA
TATSUYA HASEBE
TAKASHI HATTORI
OKUO HAMADA
FUMIYA HIRATAKE
YOKO HIRATAKE
SHINYA FUJITA
MAMORU FUJITA
TOSHIYUKI MASUI
SHOHEI MATSUKAWA
HISASHI MIZUTORI
DAIJIRO MIZUNO
JIN MITSUGI
GEN MIYAGAKI
YASUTAKE MIYASHIRO
YOSHIAKI MIYAMOTO
LUNA MURAI
YUTAKA MURABAYASHI
SACHIKO MORI
NAOHISA YAHAGI
SHINGO YAMAGUCHI
TATSUMA WADA
KENJI WATANABE
MITSUHIRO WATANABE
IKUMI WARAGAI



青野 真士

MASASHI AONO

環境情報学部准教授

専門分野

複雑系、自然計算、ポスト・シリコン・コンピューティング、生命の起源

メールアドレス

aono@sfc.keio.ac.jp

担当授業

最適化の数理	GIGA	DS2	通
複雑系の科学	GIGA		通
A 複雑系と自然計算			通
概念構築 (CI)			春

意気込み授業 複雑系の科学

生命、情報、経済、社会を含む、複雑なシステムの全体像を複雑なまま捉える新たな研究パラダイムを目指す「複雑系科学」は、自然科学、社会科学、情報通信技術などの多様な学問分野を横断的に統合するというSFCの理念を具現化するアプローチの一つです。新たなテクノロジーの研究開発や社会・経済システムの設計などの様々な場面において、複雑系科学の問題意識や研究手法を習ぶことは、必ず有意義であると信じます。

専門分野にたどり着くまで

生物に学んだ「複雑系」を活用するコンピュータの研究をしています。現在のコンピュータの性能は著しく向上していますが、人間が与えたプログラム通りにしか動作できないという大きな弱点があります。それを乗り越えるため、高い自律分散型情報処理能力をもつアメーバ状単細胞生物・粘菌に注目しています。「アメーバ計算」は、粘菌に着想を得たアルゴリズム、デバイス、ロボットを開発し、創造性の具現化を目指すパラダイムです。

お気に入りの写真 ▶

アメーバの情報処理原理に学んだアルゴリズム、コンピュータ、ロボットを開発する。



青山 敦

ATSUSHI AOYAMA

環境情報学部准教授

専門分野

脳情報学、脳機能計測、脳信号処理、マルチモーダル脳情報処理、多感覚統合

担当授業

微分・積分	GIGA	DS1	通
脳情報科学			秋
知識処理論			春
A 脳情報の計測と解析			通

意気込み授業 脳情報科学

①脳を3Dプリントして眺めたい方、②医師から貰ったMRIデータを自分で見られるようになりたい方、③ニューロンの挙動を理解し、PCでシミュレートできるようにになりたい方、④MRI、MEGなどの作り方の基本を学びたい方（＝物理的原理を理解したい方）、⑤SF映画「マトリックス」のような脳科学の最先端を垣間見たい方は、是非「脳情報科学」を履修して下さい。

専門分野にたどり着くまで

我々が経験する豊かな世界は、感覚情報として一旦バラバラに分解された真の世界を脳内で再び組み立て直したものに過ぎません。しかし、その仕組みについては未だに謎のベールに包まれたままです。私は「脳」と「宇宙」の双方に幼少の頃から興味がありましたが、最も身近な存在である「脳」が持つ内向きの神秘性と謎の多さに魅力を感じ、脳の研究に携わるようになりました。



秋山 美紀

MIKI AKIYAMA

環境情報学部教授

専門分野

健康情報とコミュニケーション、公衆衛生、疫学、健康政策

メールアドレス

miki@sfc.keio.ac.jp

担当授業

ヘルスリサーチの基礎	秋
リスク社会の制度設計	GIGA G 春
社会的組織の経営（ヘルスケア）	秋
エビデンスに基づく健康政策とコミュニケーション	春
衣食住を取り巻く社会課題とイノベーション ※	秋
健康行動科学とヘルスコミュニケーション研究	通
健康なコミュニティと社会のデザイン	通
先端研究（ケースメソッド）	春
ヘルスコミュニケーション	秋

※株式会社AOI Pro./GPSSホールディングス株式会社/
株式会社SEE THE SUN 寄附講座

意気込み授業 エビデンスに基づく健康政策とコミュニケーション

一人一人が主体的に情報を読み解き、「Quality of life=人生や生活の質」を向上していけるよう、この授業は、ロジカルに考える訓練に最適な学問の「疫学」と、人や社会を動かす「ヘルスコミュニケーション」、高齢社会の「健康政策」を包含する欲張りな内容でやっています。ガチで濃い授業ですが、「高度な内容を楽しくわかりやすく」をモットーにしており、必ず論理的思考力や研究力が身につく！と思っています。

専門分野にたどり着くまで

地域や組織といったフィールドにコミットし、コミュニケーションや広義の意味での情報システムに介入することで、患者や住民の健康や疾病に関する認識や信念、行動がどう変化するのか、あるいは医療者や介護者の連携にどんな変化が現れるのか、といった実証的な研究を積み重ねています。多様な研究テーマの根底に流れるひとつの思想は、専門家に委ねてきた健康・医療の様々な課題を、当事者や市民の手に取り戻すということだと思っています。

座右の銘

Public health is "the science and art of preventing disease, prolonging life and promoting health through the organized efforts and informed choices of society, organizations, public and private, communities and individuals."

私を動かしたC.ウィンスローの言葉です。



池田 靖史

YASUSHI IKEDA

政策・メディア研究科教授

専門分野

建築・都市設計

担当授業

デザインと情報技術	秋
A 建築・都市・環境のコンピューテーショナル・デザイン	秋
建設マネジメント論	秋
応用環境デザイン (建築とランドスケープのデザイン)	秋
環境デザイン特別演習1・2	秋

意気込み授業 デザインと情報技術

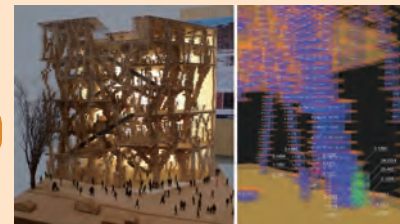
デザインは人間がその創造性と社会性を使って実現できる全てのことに通じる概念であると同時に本能的な知的欲求かもしれません。授業では主に建築と都市デザインの分野から考察していきますが、情報技術の発展がこの高度に文化的な人間の行為に与える影響に興味のある学生なら誰でも歓迎です。授業は私の提示する疑問に応じて普段と違う角度から物事を考えてもらう「頭の体操」です。私との議論を楽しむつもりで来てください。

専門分野にたどり着くまで

建築家を目指して勉強し、夢がかなってSFCを含むたくさんの建物を実現できましたが、それを支えてくれたのは情報技術に関する興味との出会いでした。そしてコンピューターとネットワークが単なる道具である以上に人間の知的活動を変革する哲学的存在であることを強く感じながら、同じように人間の文化的な知的行為の代表である建築と都市との関係を研究のテーマにして考え続けてきました。

お気に入りの写真

情報技術の関係を追究した建築モデル





飯盛 義徳

YOSHINORI ISAGAI

総合政策学部教授

専門分野

プラットフォームデザイン、地域イノベーション、ファミリービジネス、地域情報化

メールアドレス

isagai@sfc.keio.ac.jp

担当授業

新事業創造ワークショップ	春
まちづくり論	秋
TIS株式会社寄附講座「アントレプレナー概論1」	秋
アジアの人流・物流ネットワーク基盤整備	春
A 地域における効果的なプラットフォーム設計	通
地域情報化論	春
ファミリービジネス論	秋
個益公益のデザイン1・2	春

意気込み授業 まちづくり論

住民、自治体、NPO、企業、教育機関など、多様な主体によって取り組まれているまちづくりの最新動向を紹介した上で、活躍されているゲストをお招きしたり、ケースメソッドを取り入れることによって、その意義や可能性などについて議論、洞察します。まさに全員での学び合いの場が毎年実現できていると感謝しています。地域の課題解決に強い関心を持ち、実践知の創造に意欲のある方に参加してもらえればと願っています。

専門分野にたどり着くまで

各地での実践やフィールドワークを通じて、どのようにプラットフォームをデザインすれば、多様な人たちの協働が実現し、新しい活動や価値が生まれるのか、その具体的方策について探究しています。このテーマは、そもそも私が1999年に自ら立ち上げたNPO法人鳳雛塾に由来しています。研究で得られた知見を実践に移して、さらに新しい実践知を創造するというプロセスを繰り返して、「活用ある学問」を目指しています。

座右の銘 知行合一

知ることと行為は不可分とする陽明学の命題。



石川 初

HAJIME ISHIKAWA

政策・メディア研究科教授（有期）

専門分野

ランドスケープアーキテクチャ（景観・緑地・造園の計画、設計）、地理、地理教育（地形、地図などの研究と表現）

メールアドレス

hajimebs@sfc.keio.ac.jp

担当授業

デザイン言語総合講座	春
パーソナルプレイスデザイン	春
マッピングイメージデザイン	秋
デザインスタジオ（自然と建築）	春
A 地上学への研究	通
B SBC合同研究	通
先端研究ワークショップ XD1~XD4	通
ランドスケープデザイン	秋

意気込み授業 パーソナルプレイスデザイン

空間のデザインに興味がある人、必ずしも絵が上手でなくても、物の見方や考え方、街の風景の読み解き方を知りたい人、寝転がることを許さないベンチのデザインに腹立たしい思いを抱いたり、マンションのこれ見よがしな剣先フェンスに納得がいかない人、鴨池の周りの芝生で、気づいたら他人よりも急な斜面に座っている人、そんな学生と議論を交えながら「私の場所」をデザインする練習をする授業です。

専門分野にたどり着くまで

祖父が自然公園などの景観計画を研究する学者でした。その影響が大きかったと思います。建設会社の設計部に身をおいて、実務で外部空間や景観の設計に携わり、3年前に転職して研究/教育に携わるようになりました。

お気に入りの言葉 愚直に執拗に丁寧に

研究会の基本格律です。



一ノ瀬 友博

TOMOHIRO ICHINOSE

環境情報学部教授

専門分野

景観生態学、景観計画学、造園学、農村計画学

担当授業

地球環境技術論	GIGA	通
都市と環境		秋
エコロジカルデザイン		春
生態学フィールド調査法		春
ランドスケープエコロジー	GIGA I	春
自然環境論		秋
B ランドスケープ研究		通
B エコインフラ		通
フィールドワークA~D (EG)		通
インターンシップA・B (EG)		通
個益公益のデザイン1・2		春
地球環境技術論		通
環境開発技術論		通
環境科学技術・政策特論		春

意気込み授業 ランドスケープエコロジー

ランドスケープエコロジーは生態学の一分野ですが、私の授業では人と自然の関係に特に注目して構成しています。SFCでは生態学に関わる授業は少ないのですが、生物の調査方法などについては「生態学フィールド調査法」で扱っています。SFCの学生誰にでも取って欲しいのですが、特に都市計画や環境問題に興味がある方に適しています。是非一緒に未来の人と自然のあり方を考えましょう。

専門分野にたどり着くまで

大学で専門分野を決める際には、紆余曲折があったのですが、元々子供の頃から自然の中で遊び、生き物が好きだったことが一番大きなきっかけだったと思っています。大学入学時点では考えてもいなかった農学部に進学し、都市と自然のあり方を考えるところからスタートしました。学生の頃は狭山丘陵一帯で鳥類の研究をしていました。都市は苦手なので、SFCの周りの環境が私にはしっくりきます。



お気に入りの写真

固定翼のドローンを飛ばしているところです。



上山 信一

SHINICHI UEYAMA

総合政策学部教授

専門分野

企業の経営戦略、行政改革、地域再生、ミュージアムマネジメント

メールアドレス

ueyama@sfc.keio.ac.jp

担当授業

企業経営	秋
パブリックガバナンス	秋
B パースペクティブ2050-金融・商業・交通・都市の4つの世界史を手掛かりに	春
B パースペクティブ2050-金融・都市・インフラ・産業・技術の世界史を手掛かりに	秋
B 企業経営を評価する --高い視点からの課題解決を目指して	通

意気込み授業 企業経営

講師はマッキンゼーの元共同経営者。この授業はハイテクから食品まで約50社の経営改革で講師が得てきたノウハウを伝授します。授業は①「具体企業事例」、②「ツール」（たとえば財務、マーケティング）、③「実践演習」で構成します。毎回の授業は予習教材を巡る討議と演習で構成し、初心者や理系の人でも「企業」と「経営」の考え方が無理なく体得できるよう工夫します。

専門分野にたどり着くまで

官僚（国交省）からマッキンゼーを経て大学に来ました。企業の経営コンサルティングと政府や行政に経営の考え方をを入れる仕事をやってきて、それが世の中の改革に使えると気が付き、日々実践しています。

お気に入りの写真

研究会OB横田真人くんがロンドン五輪（800m競争）に出場し、みんなで応援。





牛山 潤一

JUNICHI USHIYAMA
環境情報学部准教授

専門分野
運動生理学、神経科学
メールアドレス
ushiyama@sfc.keio.ac.jp

担当授業	
感覚の生理と心理	※春
スポーツ科学	※ GIGA I 春
ヘルスリサーチの基礎	秋
運動の生理と心理	※秋
A 身体運動の神経科学 ~脳と身体をひとつの"システム"として捉える~	通

※18年度開講なし

意気込み授業 運動の生理と心理

「運動」と言われると「スポーツ」を想像するひとも多いと思いますが、キャンパスを歩くことも、学食で食事やおしゃべりすることも、講義中にPCのキーボードを叩くことも、すべて「運動」です。我々の生活の中に満ちた「運動」についての科学のなかから、ボクがワクワクしているトピックを厳選してお届けしています。極端な話、「自分」という存在に関心がある学生のすべてが、この授業を履修してほしい学生です。

専門分野にたどり着くまで

学生時代、ボクは体育会会員でしたが、怪我で手術とリハビリを繰り返していました。練習できない日々を漫然と過ごすのではなく、身体のことを勉強し始めたことがこの分野との出会いです。その後、科学は空前の「脳ブーム」に突入し、ボク自身もそこにグッと魅せられました。脳単体で人間を語ることへの違和感をめぐえませんでした。「脳と身体をひとつの"システム"として捉える」というコンセプトはこうして生まれたものです。

お気に入りの言葉 素人発想 玄人実行

素朴な疑問こそが科学の推進力だと思います。皆さんの頭から湧き出る疑問に立ち向かう術を伝授し、探求の旅に伴走できる存在でいたいと思います。



大木 聖子

SATOKO OKI
環境情報学部准教授

専門分野
地震学、災害情報、防災教育、
災害科学コミュニケーション
メールアドレス
soki@sfc.keio.ac.jp

担当授業	
地球システム	春
地球情報技術論	GIGA 通
社会安全政策(防災)	GIGA G 通
地球システム設計論	秋
日本航空株式会社寄附講座「空を飛ぶ」	秋
A 防災社会デザイン研究会	通
地球環境技術論	通
地球システム	春

意気込み授業 地球システム設計論

1. 運転中の原発の安全装置がすべて同時に故障した場合、深刻な事故が生じますか？
 2. 運転中の原発の全ての安全装置が同時に故障することはありますか？
 3. 運転中の原発の全ての安全装置が同時に故障する可能性を考えて事前に対応しておく必要はありますか？
 4. 原発に依存した生き方は幸せなのでしょうか？
- 1を聞いているようでいて4を問うている、そんな様々な問いについて考える授業です。SFC生とやると楽しい！

専門分野にたどり着くまで

高校生の時に阪神・淡路大震災が起こり、地震学を学ぼうと決めました。でも地震や津波のメカニズムを知っても、必ずしもそれが避難行動や対処行動につながらない。今は、防災という切り口で人について研究する「人間科学」の視点で取り組んでいます。研究会の学生たちが前向きで心優しく、とても頼もしいです。地震が起こることは止められないけれど、それを災害にしない。そういう社会をデザインし、実践していく研究です。

お気に入りの言葉 一生を終えて後に残るのは、我々が集めたものではなく、我々が与えたものである。

今となってはSFCみたいな言葉ですね。



仰木 裕嗣

YUJI OHGI

政策・メディア研究科教授

専門分野

スポーツ工学、スポーツバイオメカニクス、生体計測、無線計測

メールアドレス

ohgi@sfc.keio.ac.jp

担当授業

身体運動解析	GIGA I	春
スポーツエンジニアリング		秋
スポーツバイオメカニクス		秋
A スポーツ工学:工学的アプローチによるスポーツスキルの分析とアスリート支援		通
スポーツ・スキルサイエンス論		春

意気込み授業 身体運動解析

教室で行う授業の中で、汗だくになってオールアウトまで追い込まれるという授業はSFC、いや慶應義塾大学の授業の中ではこの授業だけでしょう。この授業では履修者が自分で実験を行い、自分が被験者となって身体運動の研究方法を学びます。写真撮影技術に始まり、高速度カメラ撮影、モーションキャプチャーなどの運動力学の方法論、さらには筋電図計測、最大酸素摂取量計測などの生理学の基本研究法を学びます。

専門分野にたどり着くまで

水泳選手だった学生時代、自分の能力を上げるためには何が必要かを考えて、スポーツバイオメカニクスという分野にたどり着きました。ヒトの運動を数学で技術できること、一つの原理が分かれば様々なスポーツ運動を「理屈」で理解できる、という面白さがあります。スポーツの「何故？」にどっぷりと浸りたい人にはオススメの分野です。

お気に入りの言葉 Rolling stone gathers no moss.

転がる石は苔むさない。



逢阪 貴士

TAKASHI OSAKA

総合政策学部教授(有期)

専門分野

社会安全政策、警察学、刑事司法、サイバーセキュリティ

メールアドレス

tosaka18@sfc.keio.ac.jp

担当授業

情報セキュリティマネジメント		春
政策立案論	GIGA G	秋
社会安全政策(治安)		春
B 社会安全政策論研究会		通
B サイバー防犯ボランティア研究会		通
グローバル・ガバナンス研究(応用研究)		秋
情報リスク管理		秋

意気込み授業 社会安全政策(治安)

実務家(警察庁)出身の教員なので、なるべく現実に警察の現場で問題になっていることを紹介したいと思っています。警察が好きなのも嫌いな人も、社会の安全を確保するための法と政策の在り方について、自由と安全、実効性とコスト、正義と公平など、様々な観点から考えてほしいと思います。また、これから遭遇するかもしれない様々なトラブルに的確に対処するための実践的な知識を身に付けてもらうことも期待しています。

専門分野にたどり着くまで

SFCでは「社会安全政策論研究会」と「サイバー防犯ボランティア研究会」を主宰しています。後者は、学生が小学校・中学校・高校に赴き、情報モラル・ネットリテラシーについて分かりやすく教えるという実践活動を行っています。社会的にもニーズの高い有意義な活動であり、学生にとっても子供たちと直接触れ合うやりがいのある活動です。意欲ある学生の参加・履修を求めているので、興味のある方は是非連絡してください。

座右の銘 他策なかりしを信ぜむと欲す

陸奥宗光が「塞塞録」で述べている言葉。



オオニシ タクヤ

TAKUYA ONISHI

環境情報学部准教授（有期）

専門分野

エネルギー・デザイン、軽量・極限建築

メールアドレス

takkun@sfc.keio.ac.jp

担当授業

デザイン言語総合講座		春
建築生産とデザイン	GIGA	秋
デザインリサーチ	GIGA	春
未踏領域のデザイン戦略		春
極限環境デザイン	GIGA I	春
A エネルギー・デザイン・プログラム		通
先端研究ワークショップ XD1~XD4		通
環境デザイン・フィールド・ワークショップ		秋

意気込み授業 A エネルギー・デザイン・プログラム

「デザイン」はもっと世界や地球環境に大きく貢献できるはず。エネルギーは世界に頻発する多くの重要課題と密接に関係しています。例えば、貧困、交通、食糧危機など。それら諸問題を「エネルギーデザイン」という新しいアプローチで考え、提案し、伝えることで世界は良くなっていくと信じています。プロダクトデザイン、（建築）設計、グラフィック、電子工作、教育活動、執筆など多岐にわたるスタイルで創作を進めています。

専門分野にたどり着くまで

私自身は建築家で、軽量・極限建築に大変興味を持っています。極限環境での建築行為はつまりインフラと向き合うことですが、その際「エネルギー」というテーマに出会いました。「サステナブル」や「エコ」とは全く違うニュアンスの「エネルギー」という分野にデザインの可能性を感じた瞬間に衝撃が走り、その日のうちに「ENERGY MEET」という会社を立ち上げたほどです。まだ未開拓分野で注目も浴びていませんが、面白いデザイン領域です。

その他 In A Silent Way / MILES DAVIS

この不思議な音に奇跡を感じます。人生の意味を考え続けることができる音楽です。



大堀 壽夫

TOSHIO OHORI

環境情報学部教授

専門分野

言語学（意味論、機能的類型論、談話分析）

担当授業

プロジェクト英語B (Reading)		通
語彙意味論		
Lexical semantics & Mental dictionaries	GIGA I	春
認知言語論		秋
A 言語科学：基礎からオリジナル研究へ		通

意気込み授業 Lexical semantics & Mental dictionaries

英語で授業を行う、GIGAプログラムの一環です。認知言語学の立場から、語の意味について多角的に考えています。ことばの使用は現実を客観的に写すだけでなく、ある「捉え方」を伴ったものだという考えのもと、プロトタイプ、フレーム、語の意味関係、メタファー、感情語彙などについて取り上げています。クラスはさまざまなバックグラウンドの人がいて、授業の最後に書いてもらうレスポンスからは私も学ばせてもらっています。

専門分野にたどり着くまで

言語学を専攻するようになる前から、もともと英語が好きで文学が好きでした。洋楽も好きで、歌詞カードのついてないレコードを必死に耳コピして書き取り、辞書を引き引き訳してみたり。ことばの整った法則性の研究も面白いですが、同時に意味作用の歪みや軋み、ことばの生々流転にも強く惹かれます。ものごとを一面的に割り切ることは趣味でないので、ことばという多面的な対象を研究するのは性に合っているようです。

その他 好物はSFとプログレ (I know what I like)



大前 学

MANABU OMAE

政策・メディア研究科教授

専門分野

機械工学（機械力学・制御、自動車工学）

メールアドレス

omae@sfc.keio.ac.jp

担当授業

フィールド研究1・2	通
情報基礎2	春
モノ創り実験工房	GIGA 通
公益財団法人タカタ財団寄附講座 「交通安全文化論」	秋
B スマートモビリティ～セルフドライビングカーを学ぼう～	通
B スマートモビリティ～セルフドライビングカーを創ろう～	通
先端研究（EG）	秋

意気込み授業

- B スマートモビリティ～セルフドライビングカーを学ぼう～
- B スマートモビリティ～セルフドライビングカーを創ろう～

自動車の自動運転など将来のモビリティについての勉強や研究を行っています。私は、大学で学ぶことは社会に出てもあまり役に立ちませんが、大学で作った友達は人生を豊かにしてくれると思っています。というわけで、メンバーが研究会活動を通じて生涯の良い友を得られるような研究会にしたいと思っています。あと、大学院まで行こうと思っている人は是非来てください！うちの真の楽しさは、醍醐味は、大学院生になると味わえます。

専門分野にたどり着くまで

専門分野は機械工学ですが、その中でも機械力学・制御が専門です。対象とする機械は、もっぱら自動車でしたので、20年前から自動運転の研究をやりました。昔は、自動運転の研究は大学らしい研究と言って良かったかもしれませんが。自動運転の開発が世界的なブームになり、実用化が見えてきた今、大学の研究者として何をすべきか？…悩ましいところです。



お気に入りの写真

夏合宿@式根島2017で作った大前研口ゴ



小熊 英二

EIJI OGUMA

総合政策学部教授

専門分野

歴史社会学

担当授業

アカデミックライティング	秋
近代史	GIGA G 秋
近代思想の世界	春
現代社会理論	春
B 新書で学ぶ現代日本の諸問題	春
B 近代社会研究	通
B 戦後日本史の多角的分析	秋

意気込み授業 現代社会理論

この講義では、社会学の基本的な考え方から、ナショナリズム、教育、文化、家族、ジェンダー、福祉、グローバル化などを説明する様々な理論までを紹介している。その目的は、現代の諸問題を違ったアプローチから考え直し、ひいては自分が立っている位置を考え直す契機にすることだ。この講義のさらに基礎になっている哲学を知りたい人は「近代思想の世界」を、日本に応用するとどうなるか知りたい人は「近代史」を受講してほしい。

専門分野にたどり着くまで

物理学を学んで理論の論理的美しさを知り、出版社に勤めて日本社会の多様性を知り、社会学を学んで理論の応用を知り、哲学を学んで論理を徹底することを知り、日本近現代史を研究して人間の考える理論には限界があることを学んだ。



小澤 太郎

TARO OZAWA

総合政策学部教授

専門分野

公共経済学（公共選択論）、
ゲーム理論（戦略研究）

担当授業

ゲーム理論	秋
公共選択論	春
経済分析演習	春
(財)経済広報センター寄附講座 「21世紀の企業の挑戦」	秋
A 規範的経済学へのアマルティア・センの貢献	通
概念構築（戦略と制度設計）	秋
公共選択論	春

意気込み授業 ゲーム理論

ゲーム理論は経済学、政治学、経営学、社会学など社会科学全般に共通する分析枠組みを提供する学問です。人口減少に伴う様々な弊害をいかに乗り越えていくか、人間の能力を凌駕するAIとどの様に向き合っていくか、地球温暖化にいかに対処するか、国家間の安全保障上の問題をいかに平和裏に解決していくかといった問題について、是非若い皆さんに、ゲーム理論を参考にしつつ、自分の頭で理論的に考え抜いて欲しいと思います。

専門分野にたどり着くまで

現実の政府が、教科書通りに常に正しい経済政策・公共政策を行うとは限りません。例えば、増税は先送りされる傾向がありますし、政府が社会保障費の抑制に及び腰になる事もしばしばです。どうして経済学的に正しいと考えられる政策が、行われない事がよくあるのでしょうか？この疑問に答えるのが、私の専門分野である公共選択論なのです。経済学的視点のみならず、政治学・行政学的視点も必要で、その学際性に知的興味を感じます。

その他

ガルリ・カスパロフ『DEEP THINKING ディープ・シンキング：
人工知能の思考を読む』日経 BP 社

AIと死闘を演じたチェスの天才の書。



片岡 正昭

MASAKI KATAOKA

総合政策学部教授

専門分野

地方政府論、データサイエンス

メールアドレス

mkat@sfc.keio.ac.jp

担当授業

統計基礎	DS1	秋
地方自治論		春
地方政府動態論		秋
B <地方発>の政策イノベーション (新規履修者用)		春
B <地方発>の政策イノベーション (長期継続履修者用)		通
B <地方発>の政策イノベーション (継続履修者用)		秋
地方政府のガバナンス		春

意気込み授業 地方自治論

地方自治は大半の学生にとって、ご縁が少ない分野です。しかし、皆さんは生まれて以来、予防接種や学校などさまざまなサービスを受けています。また日本の公共政策の7割は地方自治体が実施しており、決して「国の下請け」としての活動だけを行なっているわけではありません。地方から何か物事を変えてゆこうとする人たち！ 地域のまちづくりに関心がある人たち！ 皆さんが知らない地方の底力を一度のぞいてみませんか？

専門分野にたどり着くまで

「乗り鉄」の鉄っちゃんです。大学時代に旧国鉄を昼間の普通列車のみを使い、日本で19人目に全線乗車しました。その際に日本の地方の営みに触れ、その課題を考えた時、地方自治に魅力を感じてこの道に入りました。当時はまだなかった総合政策学に憧れ、行政学、地域計量経済学、そして政治学を学んで学位を取った時にSFCという組織ができました。苦労して自力で山を登ったら、楽なロープウェイができていたという感じです。



加藤 貴昭

TAKAAKI KATO

環境情報学部准教授

専門分野

人間工学、スポーツ心理学、運動学習と制御

メールアドレス

tiger@sfc.keio.ac.jp

担当授業

慶應義塾入門	春
体育1～5	GIGA 通
体育1～5 (ソフトコースB)	通
脳と行動	春
知覚運動スキル論	秋
A ヒューマンパフォーマンス	通
先端研究 (CB)	春
スポーツ・スキルサイエンス論	春
e-sports論	※ 秋

※KPMGコンサルティング株式会社寄附講座

意気込み授業 知覚運動スキル論

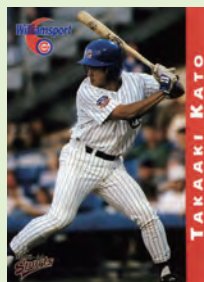
スポーツなどの身体運動における人間の知覚運動スキルについて理解することを目的とします。主にスポーツ心理学の学問領域における知覚、運動、スキル獲得に関する代表的な理論をもとに、人間の持つ非言語的、包括的な身体知について考え、生態学的アプローチや潜在学習といった新しい理論や、エキスパート達は何が優れているのか?などの話題を取り上げます。実践の場でどう生かすのか、自身の頭と身体で考えてみてください。

専門分野にたどり着くまで

「ボールが止まって見える?」いわゆるゾーンに入った時にアスリートは不思議な体験をされると言われていますが、私もそれに近い体験があったことから、人間の視覚、身体などに興味を持ちました。学部の名前由来でもあるアフォーダンス理論にも影響を受けました。エキスパートは何が違うのか?どこを見ているのか?実際に計測してみると驚くことが多々あります。リアルなスキル、洗練されたセンス、そういったものに惹かれます。

お気に入りの写真 ▶

アメリカのマイナーリーガーだった時の写真。



加藤 文俊

FUMITOSHI KATO

環境情報学部教授

専門分野

コミュニケーション論、メディア論、定性的調査法

メールアドレス

fk@sfc.keio.ac.jp

担当授業

フィールドワーク法	春
インプレッションマネジメント	秋
リフレクティブデザイン	春
出版の未来	秋
Advanced Publishing Lab 寄附講座「マンガ」	春
日本航空株式会社寄附講座「空を飛ぶ」	秋
A 場のチカラプロジェクト	通
B SBC合同研究	通
先端研究ワークショップ XD1～XD4	通
調査研究設計論	秋

意気込み授業 フィールドワーク法

定性的な「調査法」の講義なのですが、個別具体的な「現場(フィールド)」に向き合うときの態度(心のありよう)について、語っています。じぶんの足で歩き、じぶんの目で見て感じたことを、どのように理解し、どのように成果をまとめるのか。できるかぎり多様な考え方・もの見方を紹介できるように心がけています。SFCであればこそ、SFCそのものを「あたりまえ」だと思わないマインドの醸成も必要だと考えています。

専門分野にたどり着くまで

専門はコミュニケーション論です。もともとはマスメディアに関心があったのですが、ある研究者の「コミュニケーションしないことの不可能性(We cannot not communicate)」という一節に触れて、だいぶ方向が変わりました。やはり、人びとの個性を考えることがとても面白くて大切。一人ひとりの世界観や生きざまに近づくことが、結局は、その背景にある文化的・社会的な文脈の理解につながるからです。

お気に入りの写真 ▶

あたらしいスケッチブックができました。





金井 昭夫

AKIO KANAI

環境情報学部教授

専門分野

分子生物学、分子進化学、発生生物学

メールアドレス

akio@sfc.keio.ac.jp

担当授業

ゲノム分子生物学1	TTCK SFC	春
ゲノム分子生物学2	TTCK SFC	秋
RNA機能解析(先端生命科学)		通
概念構築(BI)	TTCK SFC	春
先端研究(BI)	TTCK SFC	秋
先端分子細胞生物学	TTCK	秋

意気込み授業 先端分子細胞生物学

生命科学を専攻している大学院生のための授業で、先端生命科学研究所で開講されます。授業の1週間前に、最新のNatureやScienceなどという雑誌から関連の論文を指定しますので、その内容を説明できるようにすることが必要です。授業当日に約2時間をかけて、論文を徹底的に解説し、議論します。これまでの受講生によると、とても「えぐい」授業だそうです。世界に通じる研究者養成のための授業と位置づけています。

専門分野にたどり着くまで

私の研究グループでは遺伝情報の担い手であるRNA（アール・エヌ・エー）の研究を行っています。この分子は遺伝情報の格納庫であるDNA（ディー・エヌ・エー）の一部が写しとられることで生まれてきます。私たちはRNAの制御機構やその機構の進化を追究していくことで、生命のはじまりや遺伝暗号がどのように成立したのかを説明できるのではないかと期待しています。20世紀の終わりからやりたかった研究です。



お気に入りの写真 ▶

タンパク質の自動精製装置。



蟹江 憲史

NORICHIKA KANIE

政策・メディア研究科教授

専門分野

国際関係論、地球システムガバナンス

メールアドレス

kanie@sfc.keio.ac.jp

担当授業

地球環境技術論	GIGA	通
地球環境政策	GIGA G	秋
持続可能システム論		春
環境対応プラクティス		春
日本航空株式会社寄附講座「空を飛ぶ」		秋
株式会社日立製作所寄附講座「ランニングデザイン」		春
A 持続可能な未来：SDGsと東京2020		春
A xSDG		秋
ポリスマネジメント(政策形成とソーシャルイノベーション)		春
低炭素社会デザイン演習2		秋
地球環境技術論		通
地球環境政策		秋
グローバル環境政策特論		秋
概念構築(EG)		秋

意気込み授業 A 持続可能な未来：SDGsと東京2020、A xSDG

SFCの特徴の一つを端的に表しているのが研究会だと思います。私の研究会では、SFC研究所の研究ラボと連携しながら、実践的にSDGs（持続可能な開発目標）の目標を達成するためのアクション創出を目指しています。そのための研究やステークホルダーとの連携に学生も研究者も教員も一緒になって参加し、知恵を絞ることで、イノベーションを起こしていきます。

専門分野にたどり着くまで

国連への興味から、多国間での国際政治に関心を持っていました。当時SFCにいらした碓水尊先生が、OECDや国連で働いた経験を持っている方だったので、碓水先生から多国間外交の現実を聞き、関心を高めていきました。その中で、オランダや北欧諸国のような「ミドルパワー」諸国が大きな影響力を持っていることがわかり、特にオランダの多国間外交のうち、気候変動外交を研究したことが、今の研究の原点です。

お気に入りの言葉 マルチ

色々な意味で大事だと思います。



川島 英之

HIDEYUKI KAWASHIMA

環境情報学部准教授

専門分野

データベース、トランザクション処理、システムソフトウェア

担当授業

ソフトウェア工学	秋
大規模データシステム論	春
B データシステム研究会	通
先端研究 (CI)	春
環境情報システム構築法	春

意気込み授業 大規模データシステム論

現代社会は情報システムにより支えられています。その情報システムの核技術はデータベースシステムです。この技術は精妙巧緻な美しい芸術でもあります。この芸術を実学としてのみならず教養として習得して頂きたく、講義しております。

専門分野にたどり着くまで

大学4年生のころは認知科学に興味を持ちましたが、指導教員にデータベースシステムを勧めて頂きまして、その研究に着手しました。良い分野を選んでいただいた先生に感謝しています。

座右の銘 考え、信じ、夢見て、挑戦せよ

ウォルト・ディズニーの成功の秘訣。



河添 健

TAKESHI KAWAZOE

総合政策学部長・教授

専門分野

Lie 群上の調和解析、フーリエ解析、ウェーブレット解析

メールアドレス

kawazoe@sfc.keio.ac.jp

担当授業

総合政策学	GIGA	通	
確率	DS1	秋	
問題発見・解決のための数学リテラシー	DS2	通	
数理モデル	GIGA	DS2	秋
データサイエンス基礎		春	
A 現代アートとコーランにおける数学		春	
A Art and Math		秋	

意気込み授業 問題発見・解決のための数学リテラシー

数学が嫌いな人のために設計した授業です。DS2の履修で崖っぷちに立たされた人に薦めています。

専門分野にたどり着くまで

最初から専門分野となるとは意識していないので、どこが最初の出会いかは不確かですが、大学1年のときに「連続群論」ポントリャーギン著、岩波書店、を仲間と輪読したのがきっかけかもしれません。

お気に入りの写真 ▶

MarseilleのLuminy。
初めての国際会議がLuminyでした。この入り江の隣の隣の隣がNaturistのビーチです。そこで偉い先生方と自然を満喫したことも、専門分野の数学に飛び込めた大きなきっかけですね。





清木 康
YASUSHI KIYOKI
環境情報学部教授

専門分野

マルチメディア・データベース、
感性データベース、
マルチデータベースシステム、意味的連想検索

メールアドレス

kiyoki@sfc.keio.ac.jp

担当授業

データベース概論	秋
データベース構築法	GIGA I 秋
知識処理論	春
B マルチメディアデータベース・ 人工知能と感性データベースに関する研究	通
B マルチメディアデータベースシステムとデータマイニングの研究	通
先端研究 (CI)	春
マルチメディア知識ベース構築論	春
環境測定演習	春
環境情報システム構築法	春

意気込み授業 データベース概論

データベース、データマイニングおよびAI（人工知能）研究は、我々の情報・知識の共有・獲得環境を劇的に変化させており、それらを共有・検索・統合、可視化するデータベース技術は、地球環境や社会を支える最も主要な要素として重要になっている。自然・社会環境分野、画像、音楽、文書などのメディアデータを対象とした最新のデータベース構築方法を学び、発展的な領域、新たな研究領域、応用領域の開拓を目指す。

専門分野にたどり着くまで

データベース分野への興味は、記憶系（記憶蓄積・想起）における意味や感性を計量する“意味の数学モデル”とその応用としての“5次元WORLD MAP SYSTEM”の実現にある。

お気に入りの写真

5D World Map System



國枝 孝弘
TAKAHIRO KUNIEDA
総合政策学部教授

専門分野

フランス文学、フランス語教育

メールアドレス

kunieda@sfc.keio.ac.jp

担当授業

総合政策学	GIGA 通
フランス語ベーシック	秋
フランス語インテンシブ	春
フランス語コンテンツ（芸術文化論）	春
言語とヒューマニティ	秋
B 臨床と教育	通
B 言語と思想、言語と芸術	通
ITと学習環境	秋

意気込み授業 言語とヒューマニティ

「表現」について考える授業です。授業名には「言語」とありますが、実際には文学テキストだけではなく、絵画、写真、映画作品などをもとにして、なぜ芸術はそのような表現形式をとるのかを考えます。芸術はその固有の表現によって私たちの生活世界を新たな認識のもとに見せてくれます。芸術と人間と世界の関係を考えるのがこの授業です。

専門分野にたどり着くまで

学位はフランス文学で取得しました。しかしもともと芸術一般が好きだったこともあり、SFCの領域横断的な考えの中で次第に自分自身の視野を広げていくことになりました。音楽を聴き、映画を観て、本を読み、そして考えて文を書く。シンプルでありつつ、でもそれにつけています。

お気に入りの写真

ぼくの一番大好きな映画のサウンドトラック。





黒田 裕樹

HIROKI KURODA

環境情報学部准教授

専門分野

発生生物学

メールアドレス

hkuroda@sfc.keio.ac.jp

担当授業

地球環境技術論	GIGA	通
生命現象と現実社会の比較論		秋
ヘルスリサーチの基礎		秋
基礎分子生物学1・2		春
細胞レベルの生命科学による革新	GIGA I	秋
⑧ 発生・生殖工学の応用 (先端生命科学)		通
⑧ ボディプランニング解析 (先端生命科学)		通
地球環境技術論		通
脊椎動物のボディプラン		春

意気込み授業 生命現象と現実社会の比較論

私は生物学に魅せられた人物なのですが、その面白さを誰にでも分かるように伝えたいという思いのたけを全身全霊でぶつけています。学生さん、それぞれに様々な背景をもって授業に臨まれています。だからこそ新しいケミストリーが産まれると思うんですよ。そのためには、まず楽しんでいただくこと。関西人でもありますので、そこにこだわり続けていきたいと思っています。

専門分野にたどり着くまで

進化を解き明かすために蛙を使って発生学に取り組んでいるのが私です。ダーウィンが唱えた自然選択説的に考えると、生物個体は生まれながらに多様性があって、様々な環境への適応性に差があることとなります。こういった進化的な考え方を対象とした学問をライフワークとしたい人がやはり多様性の中で生じるわけで、そのモデルの人材が私だったということでしょう。つまりきっかけは、その時代と環境に尽きると思います。

お気に入りの写真

黒田作。神経だけが光るオタマジャクシ。



桑原 武夫

TAKEO KUWAHARA

総合政策学部教授

専門分野

マーケティング、消費者研究

担当授業

ビジネスのデータサイエンス	DS2	秋
統計解析	DS2	春
マーケティング戦略	GIGA	春
情報技術とマーケティング		秋
④ マーケティング・コミュニケーション/ 科学技術コミュニケーション		通
日本のビジネス		春

意気込み授業 マーケティング戦略

マーケティング・マインド＝消費者（顧客）志向は、ビジネス分野だけでなく、さまざまなプロジェクトを行う際の指針となりえます。いろいろな方面に進むSFC生に、広くこの発想を身につけてもらえるように授業を設計しました。グループワークによって、マーケティングの主要なトピックと手法を体験しながら、自分たちの設定したプロダクト/ブランドのためのマーケティング・プランを立案することを通じて習得していきます。

専門分野にたどり着くまで

人間科学専攻（学部）も、消費者行動論（大学院）も、SFC（就職先）も、いろいろな背景をもつ人々が集まった諸科学近接・学際的環境でばかり過ごしてきました。このため「専門」と言われると考え込んでしまうような根無し草になりました。どこにでも流れて行きます。研究会学生との「これやりましょうよ！」「何それ？」からはじまったことが、いつの間にか仕事の中心になっていたことも少なくありません。

お気に入りの写真

敗北の後姿（オール慶應、相原彩良・環2に）





厳網林

WANGLIN YAN

環境情報学部教授

専門分野

地理情報科学、都市・地域環境、気候変動、持続可能科学

メールアドレス

yan@sfc.keio.ac.jp

担当授業

空間情報発想	GIGA	春
地球環境技術論	GIGA	通
地球環境概論		春
エコシステム評価論		秋
空間分析		秋
A データドリブンによるスマート都市・地域の構築		通
低炭素社会設計論		通
環境測定演習		春
地球環境技術論		通
大規模環境システム構築法		秋

意気込み授業 エコシステム評価論

エコシステム評価論は手で「環境」をトレースし、簡単な計算でCO₂吸収量などの生態効果を評価しています。「地球環境概論」を履修された学生を求めます。コンセプトは自分の目と足と頭で、自然環境の仕組み、特性、限界を理解し、持続可能な利用方法を考えてもらいたい。関連して「空間分析」、「空間情報発想」もおすすめします。

専門分野にたどり着くまで

学部では測量学を学びました。ITのブームとともに地理情報システム（GIS）に出会いました。情報化が進む一方、環境問題が注目されるようになり、都市環境、地球環境、持続可能な発展、気候変動適応、グリーンエコノミーなど、世の中は環境への関心がますます広く、深くなります。情報技術も日進月歩で、GISからIoTへ新しい話題が尽きません。SFCは環境と情報を融合したアプローチを研究、開発する最高の場所です。

お気に入りの言葉 We can't solve problems by using the same kind of thinking we used when we created them. — Albert Einstein



國領 二郎

JIRO KOKURYO

常任理事
総合政策学部教授

専門分野

経営情報システム

メールアドレス

jkokuryo@sfc.keio.ac.jp

担当授業

B Business Management in IT Era		春
B Projects on Digital Economy and Society		通
B Emerging Business Models in Cyber Civilization		秋
Management of Emerging Business	GIGA	秋
個益公益のデザイン1・2		春
Management of Emerging Business		秋

意気込み授業 Management of Emerging Business

英語の授業で起業意識の高いGIGAの学生や、遠隔でタイの学生などと交流をしながら、起業に必要な知識を獲得します。

専門分野にたどり着くまで

学生時代にコンピュータネットワークに出会って、これが未来だと思いました。

その他 宮沢賢治の「春と修羅」

世界観が好きです。



琴坂 将広

MASAHIRO KOTOSAKA

総合政策学部准教授

専門分野

International Business,
Internationalization Strategy,
International Entrepreneurship

担当授業

経営戦略	春
国際企業論	秋
多国籍経営論	秋
SFC起業家寄附講座「事業創造入門2」	春
事業創造実践(技術シーズ)	秋
経営研究:優れた経営の実践と普遍的知見の探求から近未来のあるべき経営を探る	通
Management Studies as a field of social science.	通
経営戦略特論	春

意気込み授業 経営戦略

最先端の経営戦略を、社会科学としての経営戦略と、実学としての経営戦略の両面から切り込みます。内容の概要は『経営戦略原論』（東洋経済新報社 2018年）として書籍にもまとめました。国内の大学の経営戦略の講義としては、最高品質であると自負しています。学生は、事前に沢山の資料を読み込む事が期待されます。それを元に、講義のかかなりの時間を対話と議論に割いています。

専門分野にたどり着くまで

SFC在学時代に自分で会社を経営していたのが始まりでした。その後、研究と実務の両者を継続する中で、経営という行為とそれを行う組織と個人の解明が、現在の社会にとって極めて重要となっている事に気がきました。今も大志を抱いて教育と研究活動に挑んでいます。

お気に入りの写真

オックスフォード大学代表艇の船首にて。



齊藤 邦史

KUNIFUMI SAITO

総合政策学部専任講師

専門分野

新領域法学、金融情報システム

担当授業

企業法(会社法)	春
知的財産権論	秋
民法(総則・物権)	春
民法(債権)	秋
B 法律の解釈論を「書く」	通
B 法律の解釈論を「読む」	通

意気込み授業 民法(総則・物権)、民法(債権)

契約社会の基礎知識として、多くの人に履修してもらいたいと思っています。

専門分野にたどり着くまで

SFCを卒業してシステム開発に従事していましたが、ふと思立って弁護士になり、最近まで都市銀行のシステム企画部で働いていました。

座右の銘 君子豹変、小人革面



白井 さゆり

SAYURI SHIRAI

総合政策学部教授

専門分野

金融政策、国際金融、日本経済、欧州経済

メールアドレス

sshirai@sfc.keio.ac.jp

担当授業

国際金融論		秋
マクロ経済I	GIGA G	春
政策デザインワークショップ	GIGA	秋
現代金融論	GIGA G	春
B International Macroeconomic Seminar		春
B 国際マクロ経済研究会		春
B Seminar on International Economy and Finance		秋
B 国際マクロ経済・金融研究会		秋

意気込み授業 国際金融論(日本語、英語)、マクロ経済I、政策デザインワークショップ

授業は、「国際金融論」を担当し、日本や世界のマクロ経済や金融資本市場の動向について説明しています。とくに日本、アメリカ、欧州の金融緩和がどのように各国・地域の経済や世界の金融市場に影響を及ぼしてきたのか、現在はアメリカを中心に金融政策の正常化に向かうなか、各国地域まちまちな金融政策が世界の為替・株式・債券市場にどのような影響を及ぼしているのかといった最新の動向もみています。英語の授業も担当しています。

専門分野にたどり着くまで

国際通貨基金(IMF)に5年間勤務し世界経済をみたりマクロ経済分析に携わった経験や、日本銀行の金融政策を決定する政策委員会の審議員を5年間務めた経験のほか、アジア開発銀行研究所でアジア経済・金融資本市場の分析をしてきた経験からです。また、現在でも多くの内外の国際会議に出席して世界の中央銀行、政策担当者、世界のマネーを運用するファンド、研究者などと活発な政策議論に関わっています。

座右の銘 真実一路

常に正しいと思うことを追求すること。



白井 裕子

YUKO SHIRAI

政策・メディア研究科准教授

専門分野

都市工学、環境学、森と水の環境システム分野、山林から木材・木造に至る分野、公共財の社会制度分野、ドイツとフランスの都市計画分野、林業の技術開発分野

メールアドレス

sry@keio.jp

担当授業

科学ライティングワークショップ		秋
デザインスタディーズ		秋
建築構法論		春
フォレスト・サイエンス・アンド・エンジニアリング(上流)	GIGA I	秋
フォレスト・サイエンス・アンド・エンジニアリング(下流)		春
A フォレスト・サイエンス・アンド・エンジニアリング		通

意気込み授業 フォレスト・サイエンス・アンド・エンジニアリング

林業から木材、木造までを教えています。フィールドワークでは、立木を伐り倒す林業の現場や今、建築されている伝統的な木造住宅等も見に行きます。さらに建築構法論では、もう少し踏み込んで木造について教えています。これらを履修すると、森林資源を生産する側から、それを加工して、使う側まで、一通り学べるようになっていきます。自分の研究やデザインで、この分野に新しい風を吹かせる研究熱心な学生を待っています。

専門分野にたどり着くまで

研究会では、森林/山林から木材、木造に至る分野に対して、主に工学(ものづくり)からアプローチする研究を行っています。また建築/都市から林業/山林に橋を架け渡す研究もしています。この分野における問題を、これまでになかったアプローチで解き、そこに新しい考えを提案します。この分野も、大学の研究が直接的に、社会の役に立つ可能性が高く、学生と相手のいるフィールドに出て研究することが楽しいです。

お気に入りの言葉 学生さんへ;新しい時を作る人に

社会を動かす新しい考え(研究)を。



神保 謙

KEN JIMBO

総合政策学部教授

専門分野

国際安全保障論、アジア太平洋の安全保障、東アジア地域主義、日本の安全保障政策

メールアドレス

kenj@sfc.keio.ac.jp

担当授業

安全保障と国際紛争		春
地域と社会（アジア・大洋州）	GIGA G	秋
安全保障政策	GIGA G	秋
A 国際安全保障とグローバルガバナンス		通
グローバル・ガバナンス研究（グローバルイノベーションと地域変容）		秋
グローバル・イシュー・プラクティス		通
グローバル・パートナーズ・ネットワーク		通
地域戦略研究（北東アジア）		春
フィールドワークA～D（GR）		通
インターンシップA～B（GR）		通

意気込み授業 安全保障と国際紛争

安全保障は国際関係論、紛争学、地域研究、政策学に横断する研究領域です。平時の外交・危機時の管理・紛争介入・紛争後の平和構築といったあらゆる段階での政策のあり方を検討します。国際関係における対立と協力に関心のあ

専門分野にたどり着くまで

1990年代に湾岸戦争、ソマリア紛争、ユーゴスラビア紛争、ルワンダ内戦でのジェノサイドに衝撃を受け、安全保障を専門的に研究したいと思うようになりました。テレビ局のアルバイトでカンボジアでロケをした際に、家族がポル・ポト時代の犠牲となったガイドと仲良くなりました。「自分の子供には大学に行かせたい」――そう訴える彼の目をみて、日本で好きなことができる自分は研究に集中しようと決断しました。



新保 史生

FUMIO SHIMPO

総合政策学部教授

専門分野

憲法、情報法

担当授業

立法技術論	GIGA	春
憲法（人権）		春
情報法		秋
A 情報法研究会		通
情報セキュリティの法と政策		秋

意気込み授業 情報法

SFCでは、ネットワークを使わずに生活することができないほど、日常生活から講義の履修など様々な活動をネットワークに依存しています。一方で、情報の利用に伴って生ずる法的な課題や、法令遵守に必要な基本となる知識を知らないと、ネットワーク社会において様々な不利益を被ったり、他人の権利や利益を侵害してしまい責任を負う可能性があります。情報法で学ぶ知識はネットワーク社会では不可欠な知識といえます。

専門分野にたどり着くまで

専門は憲法ですが、伝統的な憲法理論に関する研究だけでなく、インターネットの発達によって将来的に生ずることが予想される法律問題に着目した研究が必要ではないかと、インターネットがまだ揺籃期であった時期に思い立ちました。そこで、情報化社会が進展することで検討が必要になると考えた問題として、個人情報・プライバシー保護をめぐる問題に着目し研究を進め、その後の個人情報保護制度の整備にも携わることとなりました。

座右の銘 人間万事塞翁が馬

AI時代の到来で人類は幸福になるのか？



鈴木 寛

KAN HIROSHI SUZUKI

政策・メディア研究科教授（有期）

専門分野

政策形成過程、ガバナンス、教育政策、医療イノベーション政策、スポーツ政策、情報政策、ソーシャル・イノベーション

担当授業

新事業創造ワークショップ	GIGA	秋
ソーシャルイノベーション		秋
ヤフー株式会社寄附講座「データ・ドリブン社会の創発と戦略」		通
ヤフー株式会社寄附講座「データ・ドリブン社会の創発と戦略（応用）」		通
A 情報社会におけるソーシャルプロデュース		通
社会起業とイノベーション		春
個益公益のデザイン1・2		春

意気込み授業 新事業創造ワークショップ

価値観の多様化や科学技術の発展により社会が劇的に変化していく中、様々な社会問題の解決を目的としたプロジェクトを創造的に立ち上げていくことが求められています。本授業では、少人数で、学生が各々の当事者としての問題意識を明確にし、エビデンスを元にボトルネックを特定し、相互にフィードバックしながら新たな事業を構想することを目指します。心から解決したい問題を自主的に実践と結びつけたい学生を歓迎します。

専門分野にたどり着くまで

不確実な社会での問題解決に寄与するために教育・科学技術・政策・芸術・スポーツなどの視点から研究を行い、教育活動ではソーシャルプロデューサーの育成を目指しています。多様な切り口を研究につなげることができているのは、人生を通し多くの人々と議論をたたかわせ、本を読み、考え続けて実践に繋げたためです。学生の皆様も、好奇心と問題関心に任せ、たくさん読み・議論し・考え・実践して欲しいと思います。



お気に入りの写真 ▶

ハーバード大学での教育についての講義風景。



諏訪 正樹

MASAKI SUWA

環境情報学部教授

専門分野

認知科学、人工知能、コミュニケーションデザイン、デザインサイエンス

メールアドレス

suwa@sfc.keio.ac.jp

担当授業

学びのデザインワークショップ	春
身体知論	春
人工知能論	秋
構成的認知論	秋
A 身体を考え、知をデザインする生活	通
スポーツスキルサイエンス論	※春

※2017年度情報

意気込み授業 構成的認知論（14学則）/ 認知科学（07学則）

普遍性や客観性を絶対視する近代科学の方法論では、知能の研究はもはや立ち行かない。心は暗黙的であり客観的観察では掴めないし、かといって、本人も自身の暗黙知を把握することは難しいので、主観的な語りを一時的に集めても真の姿は掴めない。また、心は状況に応じて臨機応変に反応するので、現場性を重視しないと重要な側面が見逃される。知能の研究にこんな方法があるのかと「目から鱗」を経験し、新しい“人間科学”の方法を模索する授業です。

専門分野にたどり着くまで

クリエイティブな発想、広義のデザイン（Grand Designと称する）、メタ認知、身体知の研究を、実験室から出て「人が生きている」文脈で探究している。大学院で人工知能の研究を始めたとき、人と似たテーマを追うのが嫌で、気がつくと、自分がふとできていること、得意なことをネタに研究するというスタイルになっていた。研究と生活が渾然一体で苦しいこともあるけれど（特に、野球のスキルの研究がw）、ほぼ楽しい。



お気に入りの写真 ▶

インコースを捌くコツを掴んだ、2012年夏の打席。



曾我 朋義

TOMOYOSHI SOGA

環境情報学部教授

専門分野

メタボロミクス、分析化学、がん代謝

担当授業

メタボロミクス	TTCK	秋
メタボローム解析実習	TTCK	秋
B 応用バイオテクノロジー (先端生命科学)		通
先端研究 (BI)	TTCK	秋
メタボローム解析実習	TTCK	秋

意気込み授業 | メタボロミクス

この授業ではメタボロミクスとは関係なく、様々な自然現象や科学技術に関する質問をします。正誤に関わらず、極めてユニークな回答を高く評価しています。探究心や好奇心が旺盛で、自分の頭で論理的に考えることのできる学生に履修して欲しいと思っています。

専門分野にたどり着くまで

学生時代から有機合成、分析化学、メタボロミクス、がん代謝研究、免疫研究と興味のある専門分野は、どんどん変わっています。自分が知らないことが、少しずつわかってくる過程が楽しく、それがサイエンスの醍醐味だと思います。

お気に入りの言葉 | 今日はすでに過去 (羽生永世七冠の言葉)

変化し続けられない限り頂点には留まらない。



高木 丈也

TAKEYA TAKAGI

総合政策学部専任講師 (有期)

専門分野

朝鮮語学、社会言語学、方言学

担当授業

朝鮮語ベーシック1・2	春
朝鮮語インテンシブ1	通
朝鮮語インテンシブ2	春
朝鮮語スキル	秋
韓国地域論	秋
A 朝鮮の文化・社会	春
B 朝鮮の文化・社会	秋
B 言語研究のインターフェイス	秋

意気込み授業 | 韓国地域論 (地域統合論)

世界に居住する朝鮮民族について、その来歴を知り、言語、文化といった観点から考察していく授業。毎回、動画や画像、現地の資料などを見ながら進めていくので、ちょっとした世界旅行をしているような気分が味わえます。事例としては朝鮮民族を扱っていますが、講義全体としては、「民族、言語、アイデンティティとは何か」という問いに対する答えを探っていきます。毎学期、ゲストスピーカーを2名招聘しています。

専門分野にたどり着くまで

最近、中国東方地方や極東に居住する朝鮮民族の言語の採集、記述にあたっています。この言語、かなり古い朝鮮語の痕跡を留めたものなのですが、現在、話者が激減しており、伝統的な方言話者は、10年もしないうちに消滅すると思われます。言語の消滅の先に彼らを待つものとは…？ そんな一抹の不安を抱きつつも調査を続けています。将来的には、これらの資料をデータベース化し、文化資料として保存していきたいと思っています。

お気に入りの言葉 | 시작이 반이다 (始まりが半分だ) ※朝鮮の諺

何事もまずは始めてみるのが大事。



高汐 一紀

KAZUNORI TAKASHIO

環境情報学部教授

専門分野

クラウドネットワークロボティクス、
ソーシャルロボティクス、
ヒューマンロボットインタラクション、
ユビキタスコンピューティング

メールアドレス

kaz@ht.sfc.keio.ac.jp

担当授業

モノ創りの科学 (隔年)	GIGA	春
モノ創り実験工房 (隔年)	GIGA	通
アナログ・デジタル電子回路基礎		秋
ユビキタスサービス論		秋
A ソーシャルクラウドロボティクス -ヒトと駆け引きをするモノたちの未来-		通

意気込み授業 モノ創りの科学

「レオナルド・ダ・ヴィンチは工学者だったのか科学者だったのか？」授業の冒頭で必ず受講生に投げる質問です。工学とは新しいモノを創造する方法「技術」を探求する学問です。ダ・ヴィンチは自然科学の裏付けの下でモノの設計を行いました。講義では人工物に対して分解と分析という科学的検証手法を適用します。受講生には工学的なセンスだけでなく科学者としてのセンス、「本質と問題を見抜く眼」を磨いてほしいと思っています。

専門分野にたどり着くまで

STAR WARS ep.5の終盤、ルークが義手を装着するシーンがあります。滅茶苦茶ハアハアしました、細いシャフトがカチャカチャ動く内部構造に。中学の頃です。大学からは計算機にどっぷりでしたが、ドイツの大学に滞在しロボット用の人工皮膚を研究していたとき、ふとそのコトを思い出したんです。「そういえばロボットをやりたかったんだ」って。で、思い切って研究分野をロボットにシフトしました。5年前のコトです。

お気に入りの写真

Sociable Robots Lab.



武田 圭史

KEIJI TAKEDA

環境情報学部教授

専門分野

情報セキュリティ (侵入検知、セキュリティアーク
テクチャ、ソフトウェアセキュリティ等)

メールアドレス

keiji@sfc.keio.ac.jp

担当授業

Webデザインとマネジメント		秋
情報通信セキュリティとプライバシー	GIGA	秋
情報と倫理		春
PBL演習D		秋
先進PBL演習D		秋
セキュリティ総論D		秋
A UAV (ドローン) ~WEB応用		春
A UAV (ドローン) および先端技術の開発と応用		秋
インターネット時代のセキュリティ管理	GIGA	秋
概念構築 (CI)		春
情報セキュリティ論		春

意気込み授業 Web デザインとマネジメント

仮想的なWeb制作会社を想定したチームを構成してWeb制作のプロセスを実践的に体験する授業です。それぞれのスキルに応じてPM、エディター、デザイナー、プログラマ、エンジニアなど役割を分担します。実践的なWeb制作と本格的なプロジェクトマネジメントを体験してみたい人、濃密なグループワークを体験したい人におすすめです。

専門分野にたどり着くまで

90年代インターネット利用の普及とともに、その上で将来発生するであろう様々な犯罪や不正行為を抑止するための取り組みが必要となると考え、情報セキュリティの研究に取り組んできました。現在はUAV (無人航空機/ドローン) や自動運転車両、ロボットなどコンピュータ制御される機器が悪用の対象となることが想定されるため物理領域における先端技術を含めた安全安心のための技術と運用について研究を行っています。

お気に入りの写真

お気に入りの場所: SFCドローンフィールド





田中 浩一郎

KOICHIRO TANAKA

政策・メディア研究科教授

専門分野

イランを中心とする西アジア（中東）地域の国際関係とエネルギー安全保障、平和構築と予防外交

担当授業

イスラーム世界入門	秋
現代政治論	GIGA G 秋
日本研究概論2	春
地域と社会（中東）	春
A 現代中東政治研究	通
地域戦略研究（東アジア）	秋
エネルギー政策分析	春

意気込み授業 地域と社会（中東）

学生諸氏には中東をより身近に捉えられるようになってもらいたいと考え、時事問題としての中東情勢を理解するために不可欠となる、歴史上の背景や宗教問題、さらには諸国民のアイデンティティ形成に作用した諸要因を概説しています。中東の特異性や独自性はもちろんのこと、他の地域との相関についても関心を持ってもらえれば嬉しいです。

専門分野にたどり着くまで

言語研究から入ったのですが、大使館勤務を経験することで外交と、外交を進める上での情勢分析に惹かれたのが始まりでした。のちに平和構築のためのマルチ外交も経験し、ますます深みにはまっていきました。



田中 浩也

HIROYA TANAKA

環境情報学部教授
SFC 研究所所長

専門分野

デジタルファブリケーション、3D/4D プリンティング、デザイン工学

メールアドレス

htanaka@sfc.keio.ac.jp

担当授業

デザイン言語実践	秋
デザインファブリケーション	春
オープンデザイン戦略	GIGA I 秋
(株) DTP寄附講座「知的財産権とビジネスモデル」	秋
エクスペリエンス・アンド・エンゲージメント・デザイン	GIGA 通
A 2030年に向けてのデザイン・エンジニアリング ～「FAB」から「錬品工房 (Archemic Fabrication Studio)」へ～	春
A デジタル・ファブリケーションに 基づく創造的デジタル・エンジニアリング	秋
先端研究ワークショップ XD1～XD4	通
デザイン戦略（アンビエントメディア）	秋

意気込み授業 デザイン言語実践

学部1年生の、SFCのデザイン系の「最初の」入り口となる授業として、15年以上担当している授業です。毎年100人～200人の受講者がいますが、この授業はとにかく、ものづくりにおいて基礎となる、頭を動かすことと手を動かすことを「連動」させる身体感覚と意識を養うことが重要です。デザインやものづくりは、正解のない営みですが、「よりよい解」を常に探索し続けるマインドと方法を身につけることが大事です。

専門分野にたどり着くまで

私の専門分野は、3Dプリンタをはじめとするデジタル・ファブリケーションの技術と、そのデザインへの応用です。コンピュータのなかのデジタルな世界で広がった人間の想像力や創造力・妄想を、物理世界に「もの」として転換することができたら、現実の世界がより豊かに、楽しくなるのではないかと、と大学生のころから考えていました。それ以来、30年近くこの分野を極めるため、さまざまな分野を学んできました。

座右の銘 「技術」と「社会」の両面からひとつのテーマを追求すること。

「理系と文系」という呪われた分断意識を撲滅したい。



専門分野
中国近現代史、中国地域研究

メールアドレス
zheng@sfc.keio.ac.jp

担当授業	
中国語インテンシブ1・2・4	通
アジア・大洋州地域論	春
近現代中国研究	通
中国社会研究	通

鄭 浩瀾

HAOLAN ZHENG

総合政策学部准教授

意気込み授業 アジア・大洋州地域論

清王朝の中国から現在まで、100年以上にわたる中国の歴史と社会変動を講義する授業です。中国の近現代史に関する細かい知識の暗記ではなく、歴史学研究の最新の動向に触れながら全体的な流れを説明し、日本との比較の視点から中国社会の変動の深層を理解してもらうように努めています。中国に関心のある方には履修を強くお勧めします。

専門分野にたどり着くまで

中国地域研究、中国近現代史研究を専攻としています。草の根の社会、とりわけ生きる人間のことに関心を持っています。「歴史は現在と過去の対話である」との言葉が示すように、現在をよく知るためには、歴史が持つ可能性をまづ探究しなければなりません。



専門分野
ライフスキルプログラム、コーチング

担当授業	
体育1	GIGA 通
体育2~5 (ソフトコースA)	通
体育2~5	GIGA 通
スポーツコミュニケーション	春
コーチングとライフスキル	通
からだからつながるリーダーシップ	

東海林 祐子

YUKO TOUKAIRIN

政策・メディア研究科准教授

意気込み授業 からだからつながるリーダーシップ

2018年に初めて設置する授業で心とからだの関係性から企業のマーケティングや人材育成を導き出すというこれまでにない授業を卒業生とともに作りだしました。スポーツのコーチングに不可欠なコミュニケーション（スポーツを取り巻く人間関係）組織づくりをベースにとてもユニークな実践が期待される授業です。

専門分野にたどり着くまで

もともと高校男子ハンドボール部を全国優勝に導いたコーチングの経験値から理論を作り出してきました。机上の空論にならないよう、自分自身がコーチ時代に苦労した現場で、いまのコーチングに役立つ方法や考え方を提供しています。2020年のオリパラを通過点としてそのレガシーを特に心理的な部分でしっかり形にしたいと考えています。

お気に入りの言葉 人が環境を作る、環境が人を育てる

人が主体的に育成される環境をどう作るか。



富田 勝
MASARU TOMITA
環境情報学部教授

専門分野

先端生命科学、システム生物学、
バイオインフォマティクス、
バイオテクノロジー、生命情報科学、
遺伝子情報処理

担当授業

生命システム	春
生命と知能の進化 ※2017年度情報	秋
B システム生物学入門 (先端生命科学)	通
B 医科学・地球環境・食品科学への システム生物学の応用 (先端生命科学)	通

意気込み授業 生命と知能の進化

生命は40億年前に地球に誕生したと言われていますが、どこでどのように生まれたのか諸説あり未だに謎です。そして「突然変異と自然淘汰」だけで単細胞生物が多細胞生物になり陸に上がりヒトにまで進化した原動力とメカニズムは何なのか。知能を生み出す「脳」の起源と進化についても謎だらけです。最後には「宇宙の起源と進化」という壮大な観点から生命を捉え、地球外生命体の有無や地球生命の未来についても皆で考えます。

専門分野にたどり着くまで

バイオとITを融合させた新しい切り口で「健康」「医療」「農業」「環境」の分野に挑戦しています。少子高齢化が進む我が国において、これらは数少ない成長分野でもあり、とてもやりがいがあります。また一方で、生命科学は未解明なことだらけ。だから面白いのです。教科書の勉強や試験勉強で疲弊している人がこの面白さを知ったら、きっと人生変わると思います。

座右の銘

『人に何かを教えることは出来ない。出来るのは手助けすることだけだ』 ~ガリレオ・ガリレイ

まさにこれが教育の原点だと思うのです。



内藤 泰宏
YASUHIRO NAITO
環境情報学部准教授

専門分野

理論生物学

メールアドレス

ynaito@sfc.keio.ac.jp

担当授業

人体の構造と機能	春
バイオシミュレーション1	秋
バイオシミュレーション2	GIGA I 秋
科学史 ※2017年度情報	秋
B E-cellプロジェクト (先端生命科学)	通
B 疾患診断支援システム (先端生命科学)	通
数理生物学	TTCK SFC 春
フィールドワークA~D (B1)	通
インターンシップA・B (B1)	通

意気込み授業 科学史

ぼくが大学生のころに聴きたかった話をしています。ぼくは、大学生活も半ば過ぎてからようやく、科学者をめざしているのに、科学とは何か知らないことに気づきました。同時に、科学が導き出した知識は正しいと、根拠もなく信じこんでいる自分にも。自然科学を生業とする自然科学者は自然科学のようにクリアカットではなく、普通にめんどくさい人たちだということにも。この授業のベースは、そうした気づきの喜びでできています。

専門分野にたどり着くまで

ぼくは進化が大好きなのですが、何が好きなのかといえば、自然科学の枠組みを逸脱しているところです。物理学をはじめとする王道の自然科学は、対象から本質的でないものをすべて剥ぎとって、理想的な状態をエレガントな方程式に凝縮して成功してきました。生命進化は一回性の歴史の側面があり、物理学なら捨象してしまいたい属性が、生物学者にとっては捨てがたく輝いていたりします。その矛盾や心許なさがすばらしいと思います。

お気に入りの言葉 のんびりいこうぜ。のんびりと、精一杯によ。

あしたのジョー2。たぶん原作にはない台詞。



中澤 仁

JIN NAKAZAWA

環境情報学部准教授

専門分野

分散システム、ミドルウェア、ユビキタスコンピューティング、コンピュータネットワーク

メールアドレス

jjin@ht.sfc.keio.ac.jp

担当授業

情報基礎2		春
オブジェクト指向プログラミング基礎	GIGA	秋
データ獲得法	GIGA	秋
プログラミング言語総合講座		春
A 街・人・メディア		通

意気込み授業 データ獲得法

この授業では、実空間に無限に存在する情報をデータにして取ってくる方法を学びます。実際の人やモノや空間からデータを取って、それを使っていろいろなアプリケーションやサービスにつなげるようなことを面白がれる方には是非履修してほしいです。

専門分野にたどり着くまで

コンピュータのプログラムを書くことはとても面白いです。特にプログラムが自分の意図した通りに動いた時は嬉しいです。身の回りのものをコンピュータで制御したり操作したりするプログラムを書けば、自分の作ったものが動き、さらに目で見えて、手で触れるので、楽しいです。大学1年生の時の授業でこのことに気づかせてもらったのが、僕にとって幸せでした。今の所。



仲谷 正史

MASASHI NAKATANI

環境情報学部准教授（有期）

専門分野

触覚、計測工学

メールアドレス

mn2598@sfc.keio.ac.jp

担当授業

数理モデル	DS2	春
触覚と社会		春
触覚の科学と技術	GIGA I	秋
B Touch Lab 1: Touch Fab		春
B Touch Lab 2: Touch Science		春
B Touch Lab 1: Touch Fab / 触覚とものづくり		秋
B Touch Lab 2: Touch Science / 触覚の科学		秋

意気込み授業 触覚と社会

この授業のタイトルは、諏訪正樹先生とご相談して命名しました。私たちの生活を触れるという視点から眺めてみると、価値創造の方法の新しい視座が得られることが期待できます。本授業では、そのような視点から触覚に関する企業活動を取り上げ、ゲストスピーカーとの対話やグループワーク、インタラクティブ実践を通して、触覚の視点から各種業態が提供している価値の再整理と未来への価値創造を目指しています。

専門分野にたどり着くまで

学生時代は陸上競技部に所属していたということもあり、もともと身体にまつわる研究に興味がありました。そのなかで触覚に特化したのはある種の偶然というか、学部の4年次に指導してもらっていたのが触覚研究者の梶本裕之先生（現・電気通信大学准教授）で、先生から与えられた『タッチ』という触覚の教科書がおもしろくてこの道に入ったのがきっかけです。それから、気づいたら2002年から16年、触覚研究に関わっています。

お気に入りの写真 ▶

私が発見した錯触覚は世界中で開催される学会や、SFCの授業で配布しています。





中西 泰人

YASUTO NAKANISHI

環境情報学部教授

専門分野

情報デザイン、経験デザイン、ヒューマンインタフェース、モバイルコンピューティング、アーバンコンピューティング、設計支援、創造活動支援

担当授業

プログラミング言語総合講座	春
オブジェクト指向プログラミング基礎	春
デザイン言語総合講座	春
ヒューマンコンピュータインタラクション	GIGA I 秋
A 新たな身体性をもたらす経験のデザイン	通
先端研究ワークショップ XD1~XD4	通
HCI設計論	秋
フィールドワークA~D (XD)	通
インターンシップA・B (XD)	通
デザイン戦略 (アーキテクチャ)	秋

意気込み授業 ヒューマンコンピュータインタラクション

HCI (ヒューマンコンピュータインタラクション) の歴史や基礎を勉強しつつ、新しいインタフェースやエクスペリエンスのアイデアを出して実際に試行錯誤しながら作って見た上で、それ研究として成立させるためのResearch QuestionやHypothesisを考えるとところまでを体験します。コンピュータを使った新しいアイデアを実現したい人に履修してもらいたいです。

専門分野にたどり着くまで

初めて自分のコンピュータを買ったのが大学4年生の時。その頃はまだマイナーだったMacintoshを買いました。それまで大学で使っていたコンピュータとは違って、(今となっては当たり前ですが) GUIやマウスを使うことが自分の創造性を拡張してくれることに日々驚きを感じていました。GUIやマウスを使うコンピュータとは違う経験を自分でも作ってみたい、と思ったことがこうした分野に惹かれたきっかけです。

お気に入りの言葉

この道をゆけばどうなるものか 危ぶむなかれ 危ぶめば道はなし 踏み出せばその一足が道となり その一足が道となる 迷わず 行けよ 行けば分かるさ

アントニオ猪木が引退リングで朗読した詩。



中浜 優子

YUKO NAKAHAMA

環境情報学部教授

専門分野

応用言語学、第二言語習得研究

担当授業

プロジェクト英語B (Listening)	通
第二言語習得論	春
第二言語習得と外国語教育入門	GIGA 秋
A 第二言語習得研究, 異文化間コミュニケーションと外国語教育	通

意気込み授業 第二言語習得論

人はどのように状況に応じてことばを選び、コミュニケーションを図るのか。それを、自身の母語ではなく、外国語で行おうとした場合、どのような困難さが予測されるのか。本講義では、第二言語 (外国語) の習得について学ぶとともに、コミュニケーションの諸相に焦点を置き、理論的及び実践的に学びます。一般生、帰国生、日本語の講義が理解できる留学生も大歓迎です。一緒にコミュニケーションについて考えていきましょう。

専門分野にたどり着くまで

私の専門は、応用言語学で、特に、談話レベルでの第二言語使用に興味があります。広義の機能主義的アプローチで第二言語としての日本語や英語のナラティブや発話行為の分析などを通して第二言語習得について研究しています。私は大学時代、交換留学制度でアメリカの大学で学びましたが、それがきっかけとなり、言語教育に興味を持つようになり、アメリカ大学院で学位を取得し、日米の大学での教育経験を経て、今に至ります。



中山 俊宏

TOSHIHIRO NAKAYAMA

総合政策学部教授

専門分野

アメリカ政治・外交、日米関係、国際政治

メールアドレス

tnak1188@sfc.keio.ac.jp

担当授業

グローバルガバナンス	春
歴史と文明(アメリカ)	春
日本研究概論2	春
地域と社会(米州) ※2017年度情報	秋
B アメリカ政治における保守とリベラル	春
B American Foreign Policy and World Politics	春

意気込み授業 地域と社会(米州)

米国の対外政策について、日米関係について、英語で講義をしています。トランプ時代なので、悩みながらやっています。9月から一年アメリカに行くので開講しませんが、帰国後、米国の対外政策と日米関係をわけて別々の講義にする予定です。

専門分野にたどり着くまで

運命的なものはありません。高校の時にサウスダコタ州に交換留学をして、なんでアメリカに共産党がないかについて、高校の友人と激しい言い争いになり、それをキッカケにアメリカの共産党(CPUSA)について興味をもつようになります。ちなみに Kommunismus・シンパではありません。

その他

タナハシ・コーツのトランプ論“The First White President” (<https://www.theatlantic.com/magazine/archive/2017/10/the-first-white-president-ta-nehisi-coates/537909/>)

トランプ現象の意味がクリアになった。



西川 葉澄

HASUMI NISHIKAWA

総合政策学部専任講師

専門分野

フランス文学、フランス語教育

メールアドレス

nhasumi@sfc.keio.ac.jp

担当授業

フランス語インテンシブ1	秋
フランス語インテンシブ2	通
フランス語インテンシブ3	春
B 外国語教育と想像力	通
B コピーとオリジナリティー	通
ITと学習環境	秋
トランスカルチャー論	秋

意気込み授業 フランス語インテンシブ

特にフランス語でなくてもいいですが(本当に)、みなさんには英語以外にもう1つくらい外国語を勉強する時期が若い時にあるといいと心から思っています。まず楽しいです。毎日が発見の連続になります。また、こういう時はああ言うなどと習うのでコミュ障もよくなったりするかもしれない。そして実は英語よりフランス語の方が向いていると判断するかもしれないし、両方できるようになったら鬼に金棒かもしれない。知らんけど。

専門分野にたどり着くまで

ロートレアモンという19世紀フランスの詩人を研究していますが、早死にしたので2作品しか残っていません。どれもこれも中二病のような作風で、しかもパクリとパロディを同時にやらかした挙句、開き直って「進歩には剽窃が必要だ」などといいます。そんなクズのような作品ですが、ところどころにあるありえない言葉とイメージの組み合わせや、目が眩むほど美しい断片に心を射抜かれ早数十年です。読まない方がいいです。

お気に入りの写真

ワインも好きです。





野中 葉

YO NONAKA

総合政策学部専任講師

専門分野

現代東南アジア研究（特にインドネシア）、
現代社会と宗教、女性とイスラーム、
マレー・インドネシア語教育

メールアドレス

yon@sfc.keio.ac.jp

担当授業

マレーインドネシア語インテンシブ1・2	通
マレーインドネシア語スキル	通
インドネシア文化論	秋
B 現代東南アジア研究	通
B ムスリム共生プロジェクト	通
地域戦略研究（イスラーム圏）	秋

意気込み授業 野中葉研究会2「ムスリム共生プロジェクト」

イスラーム教徒の留学生や観光客向けに様々な情報発信を実施し、「おもてなし」を超えた日本における共生を目指します。現在は、ハラール対応レストランを検索するアプリ開発、Facebookページでの発信、ムスリム向け東京観光ガイドの作成などを実施中。イスラーム教徒との交流や共生、観光振興、アプリ開発、デザインなどに関心のある学生、“ワーク”を楽しみ研究会を自分でデザインできる学生の参加を期待しています。

専門分野にたどり着くまで

高校時代に1年間、インドネシアに留学し、現地イスラーム教徒の家庭にホームステイし、現地高校に通った経験から、いつかインドネシアやイスラームと日本の懸け橋になりたいと思うようになりました。民主化と経済成長が進展するインドネシアでは、社会の様々な側面でイスラームが目立つようになっていきます。現代社会を生きる人々のイスラーム信仰や実践の在り様を、引き続き研究していきたいと思っています。

お気に入りの写真 ▶

現地での特別研究プロジェクト実施中の1枚。



萩野 達也

TATSUYA HAGINO

環境情報学部教授

専門分野

ソフトウェア科学(システム・ソフトウェア、
Web技術)

メールアドレス

hagino@sfc.keio.ac.jp

担当授業

環境情報学	GIGA	通
論理学		※ ¹ 春
ソフトウェアアーキテクチャ	※ ¹ GIGA	春
情報数学	※ ¹ GIGA	秋
関数型プログラミング言語		※ ² 秋
Web情報システム構成法		※ ² 春
B 機械学習と自然言語処理		通
B Linked Hyper Cardを作ろう		通
B 機械学習と形式言語		秋

※¹年度・学期により GIGA 科目になる場合あり

※²年度・学期により GIGA 科目になる場合あり

意気込み授業 関数型プログラミング言語

JavaScriptやC言語などの通常のプログラミング言語は手続き型で、処理の手順を記述することでプログラミングしますが、関数型プログラミング言語では関数を組み合わせて問題を解きます。手続き型とは全く異なった概念で問題を解くため、手続き型で慣れ親しんだことは全く役立たなくなるというより、かえって邪魔になります。プログラミングを新しい視点からやり直してみたい学生歓迎です。

専門分野にたどり着くまで

プログラミングが好きでソフトウェアに関すること全般を専門にしています。プログラミングは問題解決の道具として泥臭いと思われがちですが、そこに時々美しさを発見したりして、感動することがあります。数学的な簡潔な美しさ、哲学的な設計思想など、プログラムは単に動けば良いのではなく、それ自身の美しさを発見できると興味を持つことができるのではないかと思います。



長谷部 葉子

YOKO HASEBE

環境情報学部准教授

専門分野

英語教材、教授法、遠隔教育、カリキュラムデザイン、異言語・異文化間コミュニケーション

メールアドレス

happ3248@sfc.keio.ac.jp

担当授業

プロジェクト英語A	通
プロジェクト英語B (Listening)	通
日本とアフリカのグローバルコネクション (持続可能な協働の実現のプロセスの探求)	GIGA 秋
A 「教育」から取り組む ソーシャルトランスフォーメーションのカタチ —地域との協働で構築する関係性のサステナビリティ	通
B SBC合同研究	通

意気込み授業 長谷部葉子研究会

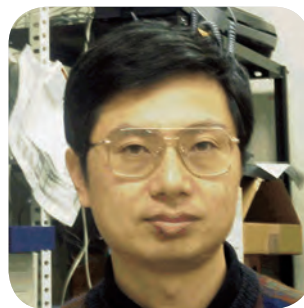
当研究会では、履修者各自の問題意識や興味・関心によって、6つのプロジェクトのいずれかに所属し、チームで問題解決に取り組みます。生活ごと、全人格ごとのフィールドワーカーとして、大学という外側の研究機関からではなく、現場という内側の立場から、地域と行政、そして研究機関である大学を当事者意識を持ってつなぎ、理論と実践の両輪でともに課題に取り組み、新たなカタチをつくり出します。まさにゼロから1の創出です。

専門分野にたどり着くまで

「人は知り合おうという意思が強く働けば、どんな逆境にあっても、言語や文化の壁がどんなに高くそびえていても、身体機能の全てを駆使してコミュニケーションをとろうと努力し、意志のちからで理解し合う術を身に着ける」この情熱に勝るコミュニケーション能力はない、これが11歳の時に英語ゼロベースで異国の地に投げ込まれた経験からの最大の学びで、これが「英語」そして「異言語・異文化理解」という専門分野との初恋です。

お気に入りの言葉 今、ここを真剣に生きていますか。

常に自分に、他者に問いかけています。



服部 隆志

TAKASHI HATTORI

環境情報学部教授

専門分野

計算機科学

担当授業

情報基礎1	春
スクリプト言語プログラミング基礎	秋
プログラミング言語総合講座	春
プログラミング言語論	秋
B 機械学習と自然言語処理 ~君の句構造をたべたい~	春
B ウェブアプリケーションプラットフォーム	通
B 機械学習と形式言語 ~勾配が無くならぬ限り、その先に解はあるぞ。 だからよ、止まるんじゃねえぞ…。	秋
概念構築 (CI)	春
フィールドワークA~D (CI)	通
インターンシップA・B (CI)	通

意気込み授業 プログラミング言語論

プログラミング言語は道具ですからとにかく動けばいいという考え方もありますが、熟練の職人が道具を大切にするように、言語について深く知ればそれだけ良い仕事ができます。単にプログラムを書いて動かすだけで満足せず、その内部構造や理論的基礎を知りたいという人をお待ちしています。

専門分野にたどり着くまで

高校生の時にパソコン（当時はマイコンと言っていました）ブームが起き、コンピュータが自分の命令通りに動くという体験をしてハマってしまいました。

座右の銘 怠けるための努力を惜しんではいけません

技術の習得は将来案をするための投資である。



濱田 庸子

YOKO HAMADA

環境情報学部長・教授

専門分野

精神医学、精神分析学、乳幼児精神医学、
学校精神保健

担当授業

環境情報学	GIGA	通
心身ウェルネス	GIGA	通
パーソナリティ発達論		秋
心的環境論		春
B 子供の精神発達を考える		通
B メンタルヘルスについて考える		通

意気込み授業 パーソナリティ発達論

精神分析的なこころの発達に関する理論を紹介する授業です。人間のこころは、生まれてから周囲の人々との相互交流を通して育まれます。心理の専門家を志す学生ばかりでなく、人と関わりのある仕事に就きたい学生、良きパパ・ママになりたい学生、赤ちゃんの写真に癒やされたい学生にお勧めです。また就活を控えて、自己分析をしようとしている学生にも、自分の心の成り立ちを振り返るきっかけになるでしょう。

専門分野にたどり着くまで

私は医学の中で人間だけにしか生じない病気である「精神障害」に興味を持ち、精神分析の第一人者である小此木啓吾先生の元で学びました。自分自身の出産と育児を経験して、精神分析理論と目の前の子どもの発達を照合することができ、子どもの心の発達の面白さに魅了されました。そして育児における母親の役割についても、体験を通してより深く理解でき、それを臨床や研究に活かして行くことができました。

お気に入りの言葉 Well enjoy yourself! Enjoy being thought important. Enjoy letting other people look after the world while you are producing a new one of its members. (D. W. Winnicott)

育児中に読んでとても気持ちが楽になった文。



平高 史也

FUMIYA HIRATAKA

総合政策学部教授

専門分野

ドイツ語教育、日本語教育、社会言語学

メールアドレス

anf@sfc.keio.ac.jp

担当授業

ドイツ語インテンシブ1	通
日本語スキル	春
多言語社会コミュニケーション	秋
A 社会言語学	通
先端研究（言語と文化）	春

意気込み授業 多言語社会コミュニケーション

近年の日本社会は外国人の増加もあって多言語化が進んでいて、居ながらにして異文化と接する機会が多くなっています。異言語、異文化との出会いは若いみなさんを未知の世界へと誘ってくれるばかりではなく、幅のある人間へと育ててくれます。そんな出会いをこの授業で探してみませんか。

専門分野にたどり着くまで

専門分野は社会言語学です。留学生に対する日本語教育に携わっているときに、学習者の日本語の誤りに興味を持ったのがきっかけで、第2言語習得に関心を抱きました。そして、移民の第2言語としてのドイツ語の研究が進んでいるドイツで研究を進めたいと思い、ベルリンに留学しました。帰国後は日本に住む外国人との共生や言語政策、海外在住日本人の言語生活、日本語教育史などの研究に取り組んでいます。

お気に入りの言葉 心より出で、願わくばまた心に至らんことを。

ベートーヴェン『莊嚴ミサ』に記された言葉。



廣瀬 陽子

YOKO HIROSE

総合政策学部教授

専門分野

国際政治、紛争・平和研究、
旧ソ連地域研究（特にコーカサス）

メールアドレス

hiyoko@sfc.keio.ac.jp

担当授業

地域と社会（欧州・CIS）	※春
比較体制論	秋
A 地域研究とアカデミック・ディシプリンの 対話と融合の模索	通
先端研究（GR）	秋
地域戦略研究（欧州）	春

※隔年でGIGA科目になります。

意気込み授業 地域と社会（欧州・CIS）

本講義では、旧ソ連地域を幅広く学んだ後、最後にグループワークの発表を行ってもらっています。テーマは自由ですが、民族舞踊を学ぶ様子をビデオにまとめたものや、民芸品の説明をしつつ実際に作る様子も披露してくれたもの、民族料理店で修行し、実際に作った料理を振る舞うなど、楽しい報告が沢山ありました。旧ソ連地域に関心を持ち、独自性溢れる研究をご自身でも行ってくださる学生さんを歓迎します！

専門分野にたどり着くまで

1991年4月、大学入学直後に、ゴルバチョフソ連大統領が来日した際に、彼と学生の対話会に参加することができ、彼と握手をしたり、話を生で聴いたりして感銘を受けたのが旧ソ連に惹かれるようになった一番の理由です。その年末にソ連が解体してから、多くの民族紛争や様々なドラマが起き、私の旧ソ連への想いは一層深くなりました。2000年には1年間アゼルバイジャンに留学し、より深く旧ソ連に関わるようになりました。

お気に入りの写真

旧ソ連ジョージア出身力士・栃ノ心との写真。



藤井 進也

SHINYA FUJII

環境情報学部専任講師（有期）

専門分野

ドラム、音楽神経科学、音楽身体科学、音楽と脳、リズム、音楽家の身体運動、音楽の知覚・認知、ヒトの音楽性の進化・発達の起源、リズム感の個人差、失音楽症、聴覚フィードバックシステムを用いた運動学習とリハビリテーション

メールアドレス

sfujii@sfc.keio.ac.jp

担当授業

環境情報学	GIGA	通
体育2～5（リズムトレーニング）		通
音楽と脳	GIGA I	通
音楽と心・身体		秋
テータドリブパート		秋
A 音楽神経科学 ～音楽と脳・身体～		通
概念構築（CB）		秋
先端研究ワークショップ XD1～XD4		通

意気込み授業 音楽と脳

「音楽と脳」の授業は、こんな授業が大学にあったら最高だなあ、と私が長年夢にまでみていた授業です。SFCだからこそ、この夢の授業を創ることができました。人間にとって、音楽って一体何なのか、私たちの脳はどのように音楽という情報を処理しているのか、音楽って何だろう、と常に考えている人、音楽のことを考えるとワクワクしてたまらない人に受講していただけたら嬉しいです。

専門分野にたどり着くまで

美しく巧みな身体運動は、音楽や芸術行為の中に満ち溢れています。ドラマーとして音楽を演奏する傍ら、ヒトの身体運動の不思議さに魅了され、一流ドラマーの身体科学研究をはじめました。研究をすればするほど、そもそもヒトはなぜリズムを奏でるのか、ヒトにとって音楽とは何か、より本質的な問いに迫りたいと思うようになり、音楽と脳の研究を進めています。

お気に入りの写真

ドラム演奏する私@SFCクラブハウス棟





藤田 護

MAMORU FUJITA

環境情報学部専任講師

専門分野

ラテンアメリカ研究 (特にアンデス諸国)、アンデス人類学、アイヌ語とアイヌ語口承文学、国際開発協力政策・開発の人類学、日本文学 (特に大江健三郎)

メールアドレス

mfujita@sfc.keio.ac.jp

担当授業

スペイン語インテンシブ1・3	春
スペイン語インテンシブ2・4	秋
アイヌの言語と文化 ※ GIGA G	秋
地域と社会 (米州) ※	春
アイヌ語とアイヌ語口承文学を学ぶ	通
南からの思考—スペイン語圏の言語と社会の研究	通
先端研究 (言語と文化)	春
フィールドワークA~D (HC)	秋
インターンシップB (HC)	秋

※年度・学期により GIGA G になる場合あり

意気込み授業 地域と社会 (米州)

ラテンアメリカ研究を専門とする私は、ラテンアメリカ「から」考える、米州 (複数形のアメリカス) 「から」考えるとはどういうことかについて、常に考えています。ただのラテンアメリカの事情紹介ではありません。現代についても、長期の歴史についても、自分が育ってきたのとは異なる社会の現実を積極的に考えたい学生、または自分が育ってきたり短い期間触れてきた米州の現実を振り返りたい学生に、ぜひ来てほしいと思います。

専門分野にたどり着くまで

アンデス山脈の走る標高の高い地域の社会にふとしたきっかけで通うようになり、家族のような付き合いをする人々ができ、将来を考えた時に、その人々と関わり続けたい、その家族が、その社会がどうなっていくのかを見続けたいと思うようになりました。なので、通い続けるために必死でテーマを考え出して、研究の道に入りました。その過程で、物知り博士になりたくなくて、日本社会でも似たようなテーマを手掛けるようになりました。

お気に入りの写真

2歳で出会った子どもがもう大学生!



増井 俊之

TOSHIYUKI MASUI

環境情報学部教授

専門分野

ユーザインタフェース、ユビキタスコンピューティング

メールアドレス

masui@pitecan.com

担当授業

ビジュアルライゼーション	秋
プログラミング方法論	GIGA 春
インタフェース設計論	春
A 全世界インタフェースデザイン	通
HCI設計論	秋
次世代WEBプラットフォーム論	秋
概念構築 (CI)	春

意気込み授業 インタフェース設計論

ユーザインタフェースの基本原理や最新のソフトウェア、ハードウェアについて詳しく解説します。使いにくいサービスやシステムに困ってる人、すごいWebサービスを作りたい人、デザイン力を発揮して人に影響を与えたい人などに役にたつと思います。

専門分野にたどり着くまで

1980年代、メーカーでたまたまグラフィカルユーザインタフェース (GUI) システムを開発することになり、既存のユーザインタフェースシステムの仕様や開発環境の問題点に気付きました。最初は専門家向けのシステムばかり作っていましたが、ユーザインタフェースの改良によってあらゆる人々を幸福にできることにだんだん気づき、現在はそれを目指したシステムを日々研究開発しています。

お気に入りの言葉 ラクするためならどんな苦勞でもする

自動化を頑張ると将来幸福になります。



松川 昌平

SHOHEI MATSUKAWA

環境情報学部准教授

専門分野

建築設計、アルゴリズムック・デザイン、
設計プロセス論

メールアドレス

sho000@sfc.keio.ac.jp

担当授業

デジタルデザイン基礎		春
地球環境技術論	GIGA	通
アルゴリズムックデザイン	GIGA	秋
デザインスタディーズ		秋
A Algorism -建築の計算(不)可能性		通
B SBC合同研究		通
先端研究ワークショップXD1~XD4		通
応用環境デザイン(建築とランドスケープのデザイン)		秋
環境デザイン・フィールド・ワークショップ		秋
地球環境技術論		通

意気込み授業 デジタルデザイン基礎

たぶんSFCで最も「エグい」授業だと自負しています。楽単を求める学生はついでこれないので履修しないでください。単位ではなく実践的な技術を知識を習得したい学生に是非履修してほしいと思っています。

専門分野にたどり着くまで

私が学部3年生の時、磯崎新『建築の解体』という本の中でクリストファー・アレグザンダーという建築家の設計方法論が紹介されていたのを見たのがキッカケです。当時建築のデザインといえば、その人の感性とか経験とかとにかく非論理的な評価基準でしか評価してもらえず、なんて理不尽な分野なんだろうと不満を持っていました。そんな中でアレグザンダーの論理的かつ数理的な設計方法論に頭を殴られたような衝撃を受けました。

座右の銘 試行錯誤

デザインの究極の方法論は試行錯誤です。



水鳥 寿思

HISASHI MIZUTORI

総合政策学部専任講師(有期)

専門分野

器械運動コーチング

メールアドレス

mizugym@sfc.keio.ac.jp

担当授業

体育1	GIGA	通
体育2~5	GIGA	秋
トップスポーツ論		秋
A スポーツパフォーマンス		通
先端研究(CB)		春

意気込み授業 トップスポーツ論

本授業ではトップアスリートになるための取り組みや環境について多角的な視点から捉えていきます。競技力向上のみならず、スポーツの価値向上のためにどのような施策が必要であるか議論していきます。スポーツに関心がある学生はもちろんです、何かの目標に向かって努力している学生が本授業を受講することで、どのようなプロセスで取り組むことが目標達成につながるのかを考えるきっかけにしてもらえればと考えています。

専門分野にたどり着くまで

幼いころから体操競技を行っていてオリンピックに出場することができました。現在は男子ナショナルチームの監督を仰せつかっていることから、どのような取り組みが選手の競技力向上につながるのか、という関心のもと、効率的な指導方法について研究しています。



水野 大二郎

DAIJIRO MIZUNO

環境情報学部准教授

専門分野

デザインリサーチ、インクルーシブデザイン、
スペキュラティブデザイン、ファッション

担当授業

ファッションデザイン	GIGA	春
デザインリサーチ		秋
ヒューマンセンタードデザイン		秋
(株)DTP寄附講座 「知的財産権とビジネスモデル」		秋
A Design and the Speculative Mind		通
先端研究ワークショップ XD1~XD4		通
スペキュラティブ・デザイン		春

意気込み授業 スペキュラティブ・デザイン

本講義は大学院科目ですが、日本ではまだ十全に理解されているとは言い難い未来志向型、問題提起型のデザイン理論・方法であるスペキュラティブ・デザインの既往研究調査を反転学習として履修者にプレゼンテーションしてもらう講義です。CHIなどにおける学会論文のレジュメを作成し、それを発表したのちに議論をします。どの論文も非常に実験的であり、毎度ワクワクします。

(自分が選定した論文ですが)

専門分野にたどり着くまで

高校三年生の時にブリット・ポップやYBA (young british artists) ムーブメントなど、クール・ブリタニア全盛期にイギリス留学にいったことが全てのきっかけです。日本で大学、大学院に行かなかったけれども、多くのインスピレーションをイギリスで得ることができました。専門分野であるデザイン学も隆盛期であったこともあり、より実験的で面白いことをしようと思い研究をすることになりました。



三次 仁

JIN MITSUGI

環境情報学部教授

専門分野

無線通信、無線応用、計算工学

メールアドレス

mitsugi@keio.jp

担当授業

情報基礎1		春
システムプログラミング基礎 Fundamentals of System Programming	GIGA	秋
モバイルネットワーク論		春
デジタル信号処理の基礎 Digital Signal Processing Fundamentals	GIGA	秋
B Wireless and Automation Laboratory		通
B 応用ワイヤレス研究会		通
概念構築 (CI)		春

意気込み授業 モバイルネットワーク論

この授業では、無線技術・サービスを正しく理解するために技術・サービス・法令などの基本を学びます。無線は今後もさまざまな応用で使われるので、分野に関わらず将来エンジニアになりたい学生や、モバイルビジネスを作りたい学生向けです。技術を一般的に論じるため、数式を平易な解説付きで使います。数学の抽象論は苦手だけど、技術は勉強したい、という学生ならついでこれです。(たぶん)

専門分野にたどり着くまで

私の専門は、無線通信・デジタル信号処理・計算工学・メカトロニクスです。学生の時から漠然と宇宙開発に従事したいと思っていて前職では衛星通信システムの研究・開発をしていました。技術をシステムとして動かすため、またビジネスにつなげるため、必要に応じて勉強してきたら知識・興味も大幅広がりました。世の中の仕組みや顕在する問題を知ることによって技術の活かし方や勉強の方向性も変わってきたように思います。

お気に入りの写真

大学のノラだったネコを飼ってます (ピリ)





宮垣 元

GEN MIYAGAKI

総合政策学部教授

専門分野

社会学、経済社会学、非営利組織論、コミュニティ論、社会ネットワーク論

メールアドレス

gen@sfc.keio.ac.jp

担当授業

NPOの設立と経営	秋
質的調査法	春
ネットワーク社会学	春
SFC政策研究支援機構寄附講座「地域協働とフィールドワーク」	秋
A ソーシャルセクターの未来	春
A ソーシャルセクターとヒューマンサービスの社会学	秋
個益公益のデザイン1・2	春
社会起業とイノベーション	秋
フィールドワークA~D (PS)	通
インターンシップA・B (PS)	通

意気込み授業 質的調査法

NPO/NGOやソーシャルビジネス、コミュニティの授業の人と認知されているかも知れませんが、実は社会学系の授業もやっていますということでこちらをご紹介します。この授業では、インタビューや観察法、資料分析法などの様々な「記録」と「意味解釈」を、まずひとつとおりに実践してみようということをやっています。唯一の解がない世界で、方法論を創造すること、読み解くことの楽しさを学んでもらえれば嬉しいです。

専門分野にたどり着くまで

ソーシャルセクターとヒューマンサービスの社会学をやっていますが、きっかけは皆さんと同じ大学生の頃、1995年のボランティア元年とインターネット元年あたりです。ボランティアやネット上のコミュニティなど、自発的な行為が多様な関係を構築したり、思いもよらない成果を生み出す事象が世界的に注目を集めました。その時代のちょうど幕開けに、その発火点でもあったSFCにいたので、素通りすることができませんでした。

お気に入りの言葉 ザマ見ろい、人間はね、理屈なんかじゃ動かねえんだよ。

…って、寅さんも言っていました。



宮代 康丈

YASUTAKE MIYASHIRO

総合政策学部准教授

専門分野

政治哲学、フランス哲学・思想

メールアドレス

miyasiro@sfc.keio.ac.jp

担当授業

フランス語インテンシブ3	通
フランス語スキル	通
政治哲学(近代)	春
政治哲学(現代)	秋
フィールド研究1・2	通
B 政治哲学・倫理学(基礎)	通
B 現代の政治哲学・倫理学(理論と応用)	通
トランスカルチャー論	秋

意気込み授業 政治哲学(近代)

政治哲学は、ひと言でまとめれば、望ましい社会はどうあるべきかという問いに答えようとする学問です。これからの世界を担う皆さんにとって、真正面から体当たりするに足る魅力的な分野です。秋学期に開講の「政治哲学(現代)」も併せて履修すれば、古代のソクラテスから近代のカント、そして現代のロールズやサンデルまで、政治哲学の基礎をひと通り学べるようにしています。世界の哲学者たちとがっぷり四つに組み合わせます。

専門分野にたどり着くまで

日本は民主ラシーの社会だと言われているが、この民主ラシーとはそもそも何か。政治や社会における一つの決め方のことか。特定の社会関係や人間関係のことか。あるいは別のものなのか。民主ラシーというこの謎めいた言葉の意味をきちんと説明するためにはどうすればよいか。この難問が頭に浮かんでから早15年。特にトクヴィルというフランスの思想家に焦点を当てながら、民主ラシーの問題について研究を続けています。

お気に入りの言葉 対話の社会は、人間というものへの賭けである(R.アロン)

失敗してもやはりそこに賭けたいものです。



宮本 佳明

YOSHIAKI MIYAMOTO

環境情報学部専任講師（有期）

専門分野

気象学

メールアドレス

ymiya@sfc.keio.ac.jp

担当授業

微分・積分	GIGA	DS1	春
地球環境技術論	GIGA		通
環境センシング論			秋
A 気象学研究会			通
先端研究 (EG)			春
地球環境技術論			通

意気込み授業 A 気象学研究会

天気を学問として取り扱うのが気象学で、それをずっと長い時間スケールで考えるのが気候学です。ご存知の通り気象・気候は生活に身近ですので、応用の幅が広いのですが、実はまだ未開拓の分野なのです。我々の研究会では、気象・気候学の勉強をしながら応用可能性を探っています。柔軟な発想を武器に、天気に関する新しい価値を世の中に出してみたい方、お待ちしております。気軽に連絡して下さい。

専門分野にたどり着くまで

2004年の夏、僕は沖縄の離島のダイビングショップで住み込みのバイトをしてました。毎日海に潜れるということで楽しみにしていたのですが、この年は歴史上最も多くの台風が日本に接近・上陸した年で、毎週台風がやってくるという状態がほとんど潜れなかったのです。それで「なんで台風が来るのか？そもそもなんで台風がいるんだ？」と思ったのがきっかけです。今となっては台風が仕事の一つですので、いないと困りますが…。



お気に入りの写真

太平洋上に1ヶ月船で観測した時に撮った雲。



村井 純

JUN MURAI

環境情報学部教授
政策・メディア研究科委員長

専門分野

コンピュータコミュニケーション、
オペレーティングシステム

担当授業

インターネット		春
IT政策と技術	GIGA I	春
未踏領域のデザイン戦略		春
エクスペリエンス・アンド・エンゲージメント・デザイン	GIGA	春
インターネット時代のセキュリティ管理	GIGA	秋
ASEANフィールドワークA・B		春
国内フィールドワークA・B		通
データ・ドリブン社会の創発と戦略 ^{※1}		通
データ・ドリブン社会の創発と戦略（応用） ^{※1}		秋
出版の未来		秋
データドリブンアート		秋
マンガ ^{※2}		春
ビヨンドブロックチェーン ^{※3}		通
空を飛ば ^{※4}		
B インターネットリサーチ		通
インターネット時代のセキュリティ管理		秋

※1: ヤフー株式会社寄附講座
 ※2: Advanced Publishing Lab 寄附講座
 ※3: SBI ホールディングス寄附講座 ※4: 日本航空株式会社寄附講座

意気込み授業 インターネット

SFCとともに発展してきたインターネット。1990年から理念と技術に加えて制度と変革を内容とし、1990年代後半からは加藤寛先生や竹中平蔵先生などから学んだ政策との関係も議論するようになりました。すごいスピードで変化するデジタル技術基盤は魅力も課題も毎週変わります。いつでもリアルタイムにその瞬間の議論を交えて、卒業後も時代背景とともに思い出せる授業としたい。インターネットはSFCで作られてきた、これからはみんなにパトタッチだ！との気持ちでやっています。

専門分野にたどり着くまで

コンピュータは大嫌いでした。昔のコンピュータは大型コンピュータで、人間がコンピュータに仕えているイメージがあったからです。人間が中心だろ、と絵を書き直してみると、人間の周りのコンピュータはお互いにつながって力を合わせて、真ん中の人を支えることになる。これが私とコンピュータネットワークの始まりでした。出来てないことをやらないといけな。誰も理解しないことを説得しないといけな。SFCにいて良かった。

お気に入りの写真

ビール飲みながら講演「UnixとInternet」講演。





村林 裕

YUTAKA MURABAYASHI

政策・メディア研究科教授

専門分野

スポーツビジネス

メールアドレス

muraba@sfc.keio.ac.jp

担当授業

体育1	春
スポーツビジネス	通
社会的組織の経営(スポーツビジネス)	春
B スポーツビジネス	通
B スポーツビジネスII	通
ソーシャルビジネスと評価	秋

意気込み授業 スポーツビジネス

日本の社会のスポーツ環境をよくするには、スポーツの産業化はしなければならない課題です。この課題に挑戦する人材がSFCから大勢育つことを期待しています。当講座を受講して、スポーツビジネスに興味をもった学生が多数いることを嬉しく感じています。

専門分野にたどり着くまで

学生時代からの自然の道でした。60年間一本道です。

お気に入りの言葉 せかず、あせらず、手を抜かず

他人と比較をしない、自らに自信をもつ。



森 さち子

SACHIKO MORI

総合政策学部教授

専門分野

臨床心理学、精神分析学

担当授業

心身ウェルネス	通
応用臨床心理	春
イメージと精神分析	GIGA I 秋
B 『高齢者と共に』を考える	通
B 子どもの精神発達を考える	通
概念構築(CB)	秋
フィールドワークA~D(CB)	通
インターンシップA・B(CB)	通

意気込み授業 イメージと精神分析

初対面の人たちと言葉を用いずに一つの作品を創り上げるプロセスの中で、自身の体験をどこまでふり返ることができるでしょう。言葉を使わないからこそ研ぎ澄まされる内的な感覚、そして関わり合う人との間に生まれる繊細な交流、それらをきめこまやかに感じることが本講義では期待されます。最終的にはそれらの体験を言葉で表現することが求められます。「心の動き」に関心のある方に、積極的に参加してほしいと思っています。

専門分野にたどり着くまで

精神分析的理論を基盤に、臨床心理の理論と実践を専門としています。誰でも、「心」に関心があると思います。私も、その一人です。「心」の領域は、どんなに探索し続けても、到達点に行き着くことのない領域です。「わかった」と思っても、「ほんとうにはわからない」、だからこそ、惹かれるのだと思います。

お気に入りの言葉 経験なき認識は空虚である

カントの『純粹理性批判』からの引用です。



矢作 尚久

NAOHISA YAHAGI

政策・メディア研究科准教授

専門分野

System Strategy、System Design、ヘルスケア社会システム戦略論 (Strategy for value-based healthcare delivery)

担当授業

心身ウェルネス	GIGA	通
ソーシャルイノベーション		秋
未来構想ワークショップ		秋
B ヘルスケアシステムデザイン		通
B アントレプレナーシップと経営		通
経営戦略特論		秋
社会起業とイノベーション		春
ヘルスケアシステムデザイン概論		春

意気込み授業 未来構想ワークショップ

私の授業は全て個々の思考プロセスを互いに理解し合った上で、チームとして議論を深めてもらっています。SFCでの多様性を認めるということはその多様性を受け入れられる能力として、高い理念や信念を確立している必要があります。また、高度で複雑化した社会の課題を解決するためには、一人のリーダーシップがフォローシップとパートナーシップの存在によって成立することの重要性を実感してもらいたいと思っています。

専門分野にたどり着くまで

10歳の時に世界における飢餓と難民を救うプロジェクトへの矛盾を感じ、必ずやサステイナブルなプロジェクトを立ち上げ人類を幸せにする一助をすることを心に決めた。そのためには、健康かつ健全な状態を維持する環境 (=社会インフラ) 構築が必須であり、極限状態を含めた人のあらゆる状況に対応できる高度な医療技術開発と循環型ビジネスとしての情報・金融システムデザインの創造とその社会実装を研究プロジェクトとしている。



山口 真吾

SHINGO YAMAGUCHI

環境情報学部准教授 (有期)

専門分野

情報通信政策、電波政策、人工知能 (社会課題解決型、自然言語処理)、地上デジタル放送システム、ICTシステム海外輸出戦略、防災・減災ICTシステム、技術基準・基準認証制度

メールアドレス

shingo5@sfc.keio.ac.jp

担当授業

ネットワーク政策	GIGA	G	秋
科学技術政策			春
人工知能と政策論			春
A 社会課題解決型の人工知能 (AI) イノベーション			通

意気込み授業 山口真吾研究会

「社会課題解決型の人工知能 (AI) イノベーション」と題して、和気あいあいとした研究会を開催しています。各自がしっかりと研究テーマを持って、調査研究活動を進めています。ICTで社会課題を解決したい人、AIの可能性を探索したい人、とりあえず問題意識だけは持っている人。SFCはひとりでは生きていけません。仲間と一緒に研究活動ができる喜び。これに共感できる学生を募集しています!

専門分野にたどり着くまで

専門は、情報通信政策、電波政策、放送政策になります。行政官として政策を立案してきた経験を活かして、技術政策を中心に研究を行っています。先端的な技術開発を促し、社会に実装していくためには政策論が不可欠です。最近では、自然言語処理技術を防災・減災に実装するイノベーションを日本全国で起こすべく、政策提言やその実践活動を重点的にを行っています。

お気に入りの写真

私の根付コレクション (1790年頃の作)





和田 龍磨

TATSUMA WADA

総合政策学部教授

専門分野

国際金融、計量経済学、マクロ経済学

メールアドレス

twada@sfc.keio.ac.jp

担当授業

総合政策学	GIGA	通
ミクロ経済1	GIGA G	春
マクロ経済2	GIGA G	春
計量経済学		秋
国際金融論	GIGA G	秋
B 国際経済学を学ぶ		通
B 計量経済分析		通

意気込み授業 International Finance / 国際金融論

今後の国際化社会を生きてゆくために必要な知識の1つである、国際マクロ経済学の授業です。GIGAであり、また内容的にも少し難しく設計してあります。海外と関係のある仕事につきたい、あるいは国際経済・政治の研究をしたいという学生にはぜひ履修してもらいたと思います。英語での読み書き、数式モデルやグラフを使った議論は今後の学生生活にも、その後にもきっと役立つと思います。

専門分野にたどり着くまで

国際マクロ、計量経済学を主な専門としています。アメリカの大学院に留学してから、これらの分野の研究の面白さを知りました。その後もアメリカ・カナダの大学で授業をしてきましたが、新聞やその他のニュースに取り上げられていることと、経済学がどのようにつながっているかを伝えることも面白いと感じるようになりました。



渡辺 賢治

KENJI WATANABE

環境情報学部教授（有期）

専門分野

漢方医学、ヘルスインフォマティクス、国際疾病分類

メールアドレス

watanabekenji@keio.jp

担当授業

人体の健康と病理		秋
医食農同源社会の実現	GIGA I	春
東西医療の融合		秋
B 未病ヘルスデザイン1		通
B 未病ヘルスデザイン2		通

意気込み授業 東西医療の融合

ヘルスケアの基本は食事、運動、睡眠であるが、これらの理論は西洋医学的な発想のもとで構築されている。一方で古代中国哲学に基づく東洋医療には独特の健康哲学がある。超高齢社会を迎えたわが国の社会保障を支えるために日本が忘れ去った東洋医療の哲学から学ぶものは多々ある。本クラスでは東洋思想に基づいたヘルスケアについて学んでもらう。

専門分野にたどり着くまで

神奈川県未病政策を支える中で、漢方薬による治療だけでなく、東洋医療の哲学が重要だということに気がつきました。2018年にオープンした未病ビオトピアにもこの思想が生かされています。もちろん近代西洋医学の恩恵も受けつつ、日常生活には東洋医療の生活の知恵は重要だと思います。

座右の銘 温故知新

伝統思想と近代科学の融合で持続可能社会を。



渡辺 光博

MITSUHIRO WATANABE

政策・メディア研究科教授

専門分野

ヘルスサイエンス、アンチエイジング、代謝疾患、栄養医学、予防医学

メールアドレス

wmitsu@sfc.keio.ac.jp

担当授業

ヘルスリサーチの基礎	秋
代謝の基礎生物学	春
分子健康科学ワークショップ	秋
分子栄養学と健康	GIGA 秋
リーダーシップ開発のためのコーチング	春
B ヘルスサイエンス (健康・幸福なまちづくり)	通
B ヘルスサイエンス (健康科学)	通

意気込み授業 代謝の基礎生物学

健康という言葉に無関心な人はいないと思う。しかし、我々を取り巻く健康の情報は様々な大人の事情により正しいものが伝えられているというわけでない。また、科学者ももちろんすべてを解明したわけではなく、自身や家族の健康は自分自身が情報を判断したり、見つけていかなければならず、そのためには身体の中で起きている現象を理解するための最小限のことを知らなければならない。自分で生き抜いていける人間を育てていきたい。

専門分野にたどり着くまで

元々は宇宙物理をやりたいかったです。宇宙の果ての果てが知りたくて。でも受験の年にスペースシャトルが落ちてしまった。それで心機一転。生体も宇宙なんですね。知らないことばかり。これまで地球ができ、どれだけの命が生まれ、消えていったか。これまで誰も知らなかった生命の神秘が、ちょっとやると見つかる。誰もが自分のことを知りたいと思っているわけで、面白い分野だと思います。かつ、生命を幸せにでき、人に喜ばれる。

お気に入りの言葉 面白きこともなき世をおもしろく、すみなしものはこころなりけり

死ぬときに持っているのは自身の心だけ。



藁谷 郁美

IKUMI WARAGAI

総合政策学部教授

専門分野

ドイツ語、ドイツ文学、外国語教育

担当授業

ドイツ語インテンシブ 2	秋
地域と文化 (欧州・CIS) ※2016年度情報	春
宗教と現代社会	秋
A ことばとメディア (メディア比較研究)	秋
A ことばとメディア (学習環境構築)	秋
ITと学習環境	秋

意気込み授業 宗教と現代社会

私たちが日頃接する音楽や文学、絵画や建築デザイン、あるいは映画や広告にも、実に多くの宗教的メタファーやシンボルがみられます。宗教的要素に着目して周囲をみると、これまで見えなかった視点が見えてきますよ。抽象的事象を具体的な「ことば」で捉える方法も講義の中でいっしょに実践してみましょう。

専門分野にたどり着くまで

「文学研究」と「外国語教育」――この2つの分野が私の現在の専門分野です。文学研究は特にドイツ語圏の文学作品を宗教言語使用の視点から分析・考察する研究です。外国語教育研究では学習環境デザインの構築・実践・評価をおこなっています。最近はGPS機能を使用したモバイル教材の開発やゲーミフィケーションを取り入れた外国語学習環境の構築に取り組んでいます。こちらの活動は教育工学の研究分野で他分野の研究者との共同研究です。つねにワクワクする楽しい研究活動を学生諸君と共に進めていきたいと思っています！

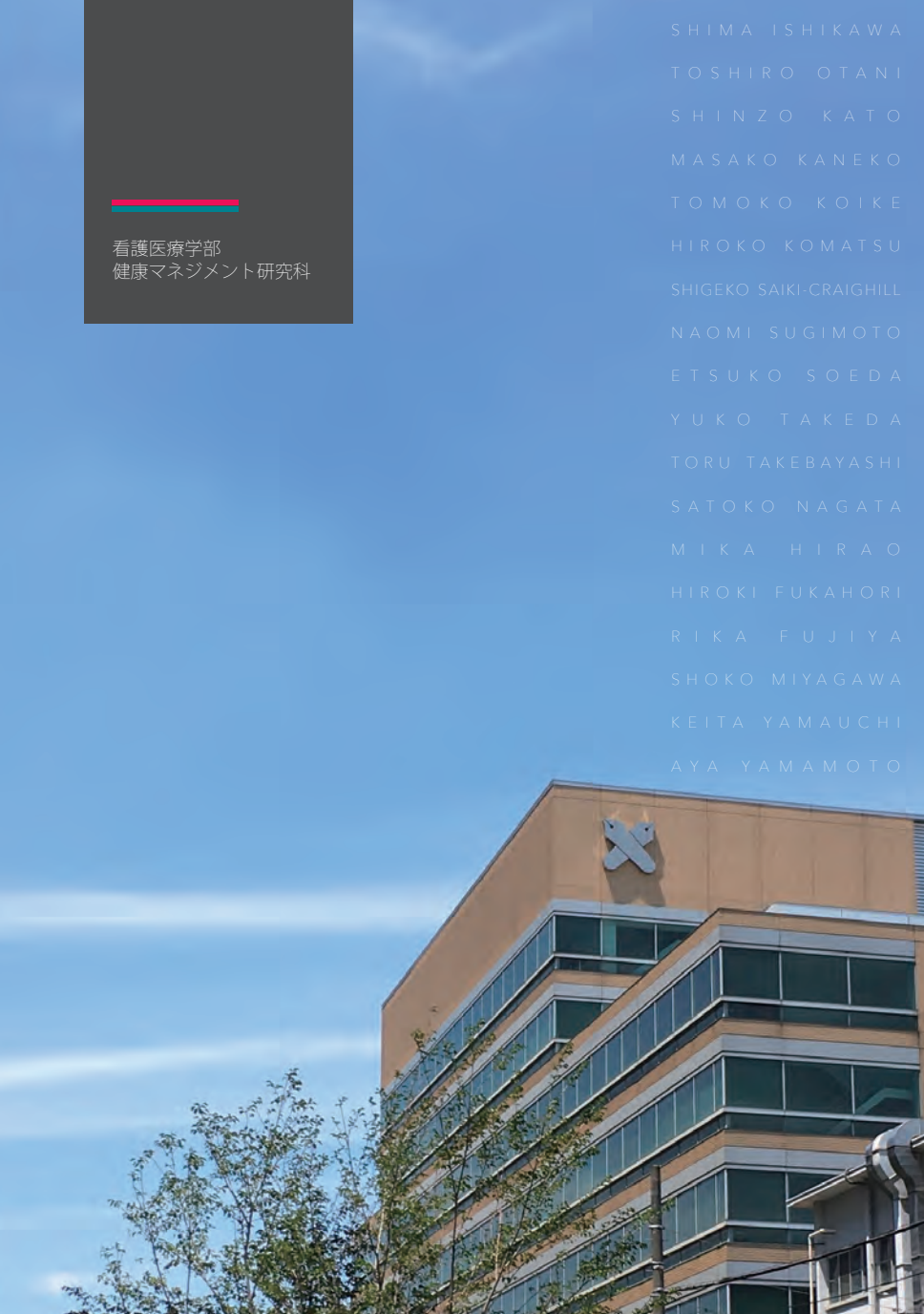
お気に入りの写真 ▶

私の原点 ボン (Bonn) 大学



看護医療学部
健康マネジメント研究科

SHIMA ISHIKAWA
TOSHIRO OTANI
SHINZO KATO
MASAKO KANEKO
TOMOKO KOIKE
HIROKO KOMATSU
SHIGEKO SAIKI-CRAIGHILL
NAOMI SUGIMOTO
ETSUKO SOEDA
YUKO TAKEDA
TORU TAKEBAYASHI
SATOKO NAGATA
MIKA HIRAO
HIROKI FUKAHORI
RIKA FUJIYA
SHOKO MIYAGAWA
KEITA YAMAUCHI
AYA YAMAMOTO





石川 志麻

SHIMA ISHIKAWA

看護医療学部専任講師

専門分野

地域看護学

メールアドレス

shima615@sfc.keio.ac.jp

担当授業

公衆衛生看護管理展開論	春
公衆衛生看護実践I(行政看護)	通
公衆衛生看護実践II(産業看護)	春
プロジェクトI(基礎)	春
プロジェクトII(応用)	秋
学校・産業保健	秋
公衆衛生看護活動論	秋
ヘルスプロモーション実践	秋
地域看護活動論	秋
地域看護論	秋

意気込み授業 地域看護論

地域の人々と共に考え、予防的な保健活動をする看護とは、どのような看護でしょうか。地域で生活する人々が自分の健康や生活に関心を持ち、自分から健康になろうとする力を高めていくためには、どのような働きかけが必要でしょうか。自分だけでなく、多様な人々、他の職種の人との連携も必要です。答えは一つではありません。寄り添って、考えて、試行錯誤しながら展開していく地域看護の魅力を感じてください。

専門分野にたどり着くまで

大学時代に初めて「保健師」という職業を知りました。受け持ち地区全ての住民の健康に責任を持つ仕事に魅力を感じ、卒業すぐに保健師として就職しました。地域の中の多様な人々の価値観・生き様に触れ、自分の人生観が大きく変わりました。今は多様な生き方を地域の中で支えあう、地域包括ケアシステムに関心を寄せて研究を進めています。



大谷 俊郎

TOSHIRO OTANI

看護医療学部教授

専門分野

膝関節外科学、生体工学(バイオメカニクス)、スポーツ整形外科

メールアドレス

totani@keio.jp

担当授業

病態学入門	秋
急性期病態学総論	信濃町 春
急性期病態学各論	信濃町 春
プロジェクトI(基礎)	信濃町 春
プロジェクトII(応用)	信濃町 秋
慢性期病態学各論	信濃町 春
救急医学・救急看護	信濃町 秋
運動生理学	信濃町 春
健康運動科学	信濃町 春
バイオメカニクス・動作解析	信濃町 春
フィジカルアセスメント	信濃町 春
健康マネジメント合同演習	通
健康マネジメント特論I	春
健康マネジメント特論II	秋

意気込み授業 病態学入門

自分が医学部生だった頃はあまり授業にも出ない不真面目な学生でしたが、「外科学総論」という講義がとても面白かったことを、その後40年以上経った今でもよく覚えています。私がSFC看護医療学部で担当している「病態学入門」は当時の外科学総論に近い科目です。毎回講義の後で看護医療学部2年生の目が輝く様に、自分なりに努力しています。

専門分野にたどり着くまで

私は膝関節が専門の整形外科医で、必然的に若いアスリートの関節鏡手術や高齢者の人工関節手術が臨床の二本柱になります。私がこの世界に飛び込んだ頃は、研究手法としてはバイオメカニクスの黎明期でした。関節の動きや軟骨の物性、また動作解析などの研究を通して自分が成長すると、例えば手術法の選択や患者さんへの説明などにそれが生きて、明日の臨床にすぐ結びつく事が魅力です。

お気に入りの言葉

Good judgement is based on experience, and experience is based on bad judgement. Jack Hughston

臨床とはこういうものだという迫力を感じる。



加藤 眞三

SHINZO KATO

看護医療学部教授

専門分野

健康科学、病態科学

メールアドレス

katos@sfc.keio.ac.jp

担当授業

救急医学・救急看護	信濃町	秋
終末期病態学	信濃町	春
慢性期病態学各論	信濃町	春
フィジカルアセスメント	信濃町	春
臨床病態学	信濃町	春

意気込み授業 終末期病態学 / 慢性期病態学各論

終末期病態学は、看護医療学部の創設時に新しく設置されました。多死社会を迎える日本で、終末期へのケアがより大切になることが予測され、終末期の医療に関して病態学が独立して設けられました。全国的にも終末期病態学を独立して教えている大学はまだ少ないのが現状です。終末期に関する医療で新しい分野を切り拓いてきた外部の著名な講師を迎えて、オムニバス方式で行っています。終末期ケアに関心のある学生を歓迎します。

専門分野にたどり着くまで

患者と医療者との関係性に関心をもっています。両者の関係性がパターンリズムと呼ばれる上下の関係から水平の関係になることを目指して、信濃町キャンパスにおいて、月に一度のペースで公開講座「患者学」を開催しています。患者と医療者、市民と学生が対等に話し合える、すなわち対話することを学ぶ場を提供するものです。それぞれの立場の人が発言することが貢献につながります。どなたでも歓迎します。是非参加して下さい。

お気に入りの言葉

理想を見つづ現実をはなれずしかも、現実を一步步つ向上させねばならない。永遠を仰ぎつつ現在をはなれずしかも現在を一步步つ向上させねばならない。

理想を目指して前進する勇気が得られます。



金子 仁子

MASAKO KANEKO

看護医療学部教授

専門分野

地域看護学

メールアドレス

masapoo@sfc.keio.ac.jp

担当授業

健康教育技法	春
公衆衛生看護管理展開論	春
公衆衛生看護実践Ⅰ（行政看護）	通
公衆衛生看護実践Ⅱ（産業看護）	春
プロジェクトⅠ（基礎）	春
プロジェクトⅡ（応用）	秋
ヘルスプロモーション実践	秋
地域看護論	秋
社会福祉原論	秋
学校・産業保健	秋
地域看護活動論	秋
公衆衛生看護活動論	秋
看護研究	春
公衆衛生看護活動計画・評価論Ⅰ	春
公衆衛生看護活動計画・評価論Ⅱ	春
公衆衛生看護学	春
地域保健学	春
看護学合同演習	SFC 信濃町 通
看護学特論Ⅰ	春
公衆衛生看護活動方法論Ⅰ・Ⅱ	秋
看護学特論Ⅱ	秋

意気込み授業 地域看護論

1年生の秋学期ではじめて地域看護学にふれる概論科目なので、あまり一般にはイメージしにくい保健師活動の中でも、ヘルスプロモーション（健康の保持増進）やコミュニティ・エンパワメントという事柄についてイメージでき看護の一分野として魅力を感じてもらうこと。また、保健師という職業についても興味関心をもってもらうこと。

専門分野にたどり着くまで

大学3年生の時に聞いた市の健康増進課課長（保健師）の話聞いて、市民の健康増進（ポピュレーションアプローチ）に魅力を感じ、駐在保健師として地区を担当した経験から生活の中で必要と感じたことを施策に結びつけるという話もすばらしいなと思ったので。今でいう地域看護分野の大学の先生たちがとても形にはまらず個人的であったことも分野を選択した理由の一つ。

その他 くまのプーさん

仲間と暮らし探究心があり愉快でユニーク。



小池 智子

TOMOKO KOIKE

看護医療学部准教授

専門分野

看護管理、看護政策

メールアドレス

koiketom@sfc.keio.ac.jp

担当授業

ナーシングマネジメント論	春
プロジェクトI (基礎)	春
保健医療福祉行政と政策	春
世界の医療・保健制度I (比較制度論)	秋
プライマリーヘルスケアと国際保健I (開発援助論)	秋
プライマリーヘルスケアと国際保健II (海外研修)	秋
移行期看護論	信濃町 秋
看護管理論	信濃町 春
看護学合同演習	SFC 信濃町 通

意気込み授業 プライマリーヘルスケアと国際保健II (海外研修)

医療保健チームとしてプライマリヘルスケア活動に参加して、国際保健における「持続可能な支援」と「チーム・アプローチ」を体験的に学ぶプログラムです。医学、看護学、薬学という異なる分野の視点から、統合的に物事をとらえる力や文化の違いや多様性を尊重し、持続可能性という観点から現場に相応しい代替案を提案する力、これらを支えるコミュニケーション力を高めることを目指しています。

専門分野にたどり着くまで

よりよい医療提供について、政策とマネジメントの双方から探究してきました。高齢化と人口減少が進展する現在、住民ひとりひとりの自分らしい健康と幸せを支える「持続可能なシステム」を考えていくなかでたどり着いたのが、住民の健康力・ケア力のエンパワーメントと、医療やケアに関わる人々のチーム力です。開発途上国の少ない医療資源でやりくりする方策や豊かなソーシャルキャピタルから、新たなアイデアを得ています。

お気に入りの言葉 A ship in a harbor is safe, but that is not what ships are built for

留まることなくチャレンジし続けていきたい。



小松 浩子

HIROKO KOMATSU

看護医療学部長・教授

専門分野

がん看護学・緩和ケア、慢性看護学

担当授業

ライフステージと発達看護論	春
医療システムアプローチ実践	信濃町 春
成人看護技術演習	信濃町 春
移行期看護論	信濃町 秋
慢性期看護学	信濃町 春
慢性期看護学演習	信濃町 春
慢性期ケア実践	信濃町 秋
終末期看護学	信濃町 春
終末期看護学演習	信濃町 春
終末期ケア実践	信濃町 秋
先端看護学	秋
プロジェクトI (基礎)	信濃町 春
看護学特論I	春
看護学特論II	秋
看護学合同演習	SFC 信濃町 通
がん専門看護実習(1・2年)	通
がん看護論	信濃町 春
がん治療看護論	信濃町 春
臨床薬理学	信濃町 秋
緩和ケア演習	信濃町 春

意気込み授業 慢性期看護学

「一病息災」と言われるように病とともに健やかに生きることは多くの人の知恵であり願いです。これからの100年では「万病息災」となり100歳を超えて病とともにどう生きるかを支える社会が到来します。病を知り、病と共生し、病に凌駕されない英知と技と心についてともに学び創造しましょう！

専門分野にたどり着くまで

病をもつ当事者の視点からその意味を探究する質的研究を中心に研究をすすめています。忘れぬ患者さんとの出会いが常に研究の原動力になっています。珠玉の言葉の背後に広がる世界に迫り、真のニーズや事実、起こりうる未来について探究することが研究の醍醐味です。それは言語や文化を超えて世界中の研究者と共有できる知になって拡がります。



戈木クレイグヒル 滋子

SHIGEKO SAIKI-CRAIGHILL

看護医療学部教授

専門分野

質的研究法、小児看護学

メールアドレス

saikic@sfc.keio.ac.jp

担当授業

研究デザイン法		春
ライフステージと発達看護論		春
小児看護学	信濃町	春
小児看護学演習	信濃町	春
プロジェクトI(基礎)	信濃町	春
プロジェクトII(応用)	信濃町	秋
小児看護ケア実践	信濃町	秋
看護研究		春
質的研究法	信濃町	春
小児看護学	信濃町	春
小児看護学演習I・II	信濃町	春
看護学合同演習	SFC 信濃町	通
小児看護学方法論I・II		秋

意気込み授業 質的研究法(大学院)、研究デザイン法(学部)

研究者になる人もならない人も、学生時代に質的研究法の基礎をしっかりと学ぶことは、将来の財産になると思います。現象把握の方法や新しいアイデアを生み出す方法を学びたい、意欲的な学生にチャレンジしてほしいと思っています。

専門分野にたどり着くまで

それまで量的研究に関心をもっていました。留学中にすごい質的研究者に出会い、ショックを受けました。良く考えたら、研究がなんなのかも分かっていない無知な自分にも気づきました。20年ほど小児がん医療の文化が研究テーマでしたが、今は小児集中治療室の医療文化に関心があります。



杉本 なおみ

NAOMI SUGIMOTO

看護医療学部教授

専門分野

コミュニケーション学(医療コミュニケーション学、コミュニケーション教育学、異文化コミュニケーション学)

担当授業

英語I B	春
英語II B	秋
コミュニケーションの理論と実際	春
プロジェクトI(基礎)	春
プロジェクトII(応用)	秋

意気込み授業 コミュニケーションの理論と実際

看護医療学部の科目ですが、1年春学期選択科目ということで医療に特化した内容ではなく、コミュニケーション学の基本原理について学ぶ授業です。毎週教科書を読んでから授業に出席することが前提であり、授業では体験・参加型アクティビティを通して各原理を検証するというデザインになっています。総合政策・環境情報学部生は2~4年生でも履修可能ですので、興味のある方は遠慮なくお問い合わせ下さい。

専門分野にたどり着くまで

異文化コミュニケーション学に惹かれたものの、その教え方には大きな不満と疑問を抱き、3年次に母校を飛び出しコミュニケーション学研究の「総本山」であるイリノイ大学に留学しました。異文化に加え、対人・教育などコミュニケーション学の各分野を修めて帰国しましたが、慶應義塾大学病院で命拾いをした元小児患者という生い立ちから、看護医療学部開設と同時に医療コミュニケーション学に「宗旨替え」して現在に至ります。

お気に入りの言葉

I don't know what lies around the bend, but I'm going to believe that the best does. From "Anne of Green Gables"

going toに注目!



添田 英津子

ETSUKO SOEDA

看護医療学部准教授

専門分野

小児看護学、移植看護、
移植コーディネーション

メールアドレス

soeda@sfc.keio.ac.jp

担当授業

小児発達援助論	春
ライフステージと発達看護論	春
小児看護学	信濃町 春
小児看護学演習	信濃町 春
プロジェクトI (基礎)	信濃町 春
プロジェクトII (応用)	信濃町 秋
小児看護ケア実践	信濃町 秋
先端医療技術	信濃町 秋

意気込み授業 小児発達援助論

私は、小児の臓器移植看護が専門です。小さな生命をそのような先端医療で救命できればと願うとき、必要な知識は、健康な子どもたちがどのようにして成長・発達を遂げるのか…という基礎知識です。そのような基礎知識を備えた上で、はじめて実際の子どもたちに援助の手を差し伸べることができるのです。

「子どもたちのために…」と願いを持つ学生の皆さんとともに、様々な知識を備えたいと思います。

専門分野にたどり着くまで

1990年頃、慶應義塾大学医学部小児外科では、肝臓移植の動物実験を行っていました。当時、看護師をしていた私の名前が、その動物（ブタ）につけられ「添田ブタ」が誕生。なんと「添田ブタ」が移植成功第一例となり、以来、「添田ブタ2号」「添田ブタ3号」…と。一方、病棟では肝臓を患う子どもが多く、入院退院をくり返したり長期に入院していました。ある日、ある親御さんから「日本では肝臓移植はできないのか」と言われたことが、移植の道を進むきっかけとなったのです。

お気に入りの言葉 日はまた昇る！

いつもこう言ってから、寝ます。厚生女子学院（現・看護医療学部）の1年次の担任 尾高恵子先生からいただいた言葉です。



武田 祐子

YUKO TAKEDA

看護医療学部教授

専門分野

臨床看護学
(急性期看護、がん看護、遺伝看護)

メールアドレス

takeday@sfc.keio.ac.jp

担当授業

遺伝と医療	春
医療システムアプローチ実践	信濃町 春
急性期看護学	信濃町 春
急性期看護学演習	信濃町 春
急性期病態学各論	信濃町 春
成人看護技術演習	信濃町 春
プロジェクトI	信濃町 春
プロジェクトII (応用)	信濃町 春
急性期ケア実践	信濃町 秋
遺伝看護論	信濃町 春
遺伝専門看護実習(1年)	通
臨床遺伝特論	信濃町 通
看護学合同演習	SFC 信濃町 通
看護学特論I	春
看護学特論II	秋
がん遺伝看護論	信濃町 春
遺伝看護対象論	信濃町 秋
遺伝看護援助論	信濃町 秋

意気込み授業 遺伝と医療

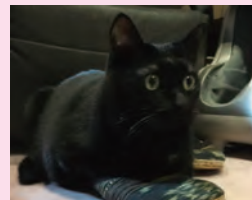
担当する学部授業の中で、唯一の選択科目です。がんの遺伝看護に足を踏み入れ早くも四半世紀。当初はマイナーなオタク領域だったのが、今やがんゲノム医療時代に突入し、がんの臨床では遺伝に関連した知識や支援のあり方が問われ、看護師も様々な学習の機会を求めようになってきました。この授業では知識だけではなく、遺伝を素材としたドキュメンタリーなどのDVD視聴を通して、学生自ら課題を探究することを大切にしています。

専門分野にたどり着くまで

専門はがんを中心とした遺伝看護です。出会いは大学院生の時でした。がんと遺伝の二つの問題を抱えながら、どのように健康管理をしていくことができるのかが関心を持ちました。医療の活用を妨げるのは、病に対する恐れや社会・経済的問題であつたり、過去の経験から医療に対する期待が持てなかつたりと様々です。当事者の体験を明らかにするための研究に力を入れています。

お気に入りの写真

癒やされるひとときです。





武林 亨

TORU TAKEBAYASHI

健康マネジメント研究科委員長・教授

専門分野

公衆衛生、環境保健、疫学

メールアドレス

ttakebayashi@keio.jp

担当授業

基礎疫学	信濃町	春
健康マネジメント概論		春
公衆衛生マネジメント	信濃町	春
高齢社会デザイン論	日吉	春
健康マネジメント合同演習		通
健康マネジメント特論Ⅰ		春
健康マネジメント特論Ⅱ		秋

意気込み授業 公衆衛生マネジメント

公衆衛生は、コミュニティへの組織的アプローチを通じた予防、健康、医療の取り組みであり、そのプロフェSSIONALには、サイエンスとアートの両立、すなわち科学的知見を実践へとつなげるための構想力やマネジメント力と現場を動かすリーダーシップが求められています。本科目では、ケースメソッドと実践に関する講義を組み合わせた双方向・討議型授業であり、魅力的な講師陣によるケースリードを通して、実践力を磨きます。

専門分野にたどり着くまで

専門分野は、公衆衛生分野のうち疫学・予防医学と環境・産業保健。現在、鶴岡キャンパス・先端生命科学研究所のプロジェクトとして、富田さん、曾我さん、秋山さん、さらに今年からは仰木さんと共同で、Tsuruoka Metabolomics Cohort Studyを進めています。11002名の市民が参加するプレジジョンヘルス、プレジジョン予防医療の取り組みです。SFC卒業生もスタッフとして活躍しています！



永田 智子

SATOKO NAGATA

看護医療学部教授

専門分野

在宅看護学

メールアドレス

satokon@sfc.keio.ac.jp

担当授業

家族看護論		春
在宅看護論		秋
在宅看護実践		春
保健医療福祉行政と政策		春
移行期看護論	信濃町	秋
在宅看護技術演習		秋
プロジェクトⅠ（基礎）		春
プロジェクトⅡ（応用）		秋
看護学合同演習	SFC 信濃町	通

意気込み授業 在宅看護論

疾患や障害を持ちながら、住みたい場所に住める社会を構築するには、多様な場で発揮できる看護の力を涵養するとともに、多職種が協働してケアを提供するシステムが必要です。在宅看護論は、在宅看護技術演習とともに、現在進行形で発展している在宅看護について基礎から展開まで学ぶ科目です。医療的ケア児、がん患者、難病患者、独居高齢者、家族介護者などへのケアに関心をもつ方に履修していただければと思います。

専門分野にたどり着くまで

人に対して身体的なケアを含めたかかわりを持てる職種として、「看護」に関心を持ち、看護師として大学病院での実践経験を積みました。退院後の患者さんへのケアに関心が移ったことから、地域看護学を志して大学院に進みました。それ以来、在宅看護領域で、「退院支援」「外来看護」など、病院と地域の接点に関心を持ちながら研究を進めています。

お気に入りの写真

いつかターンができるようになりたいです。





平尾 美佳

MIKA HIRAO

看護医療学部助教（有期）

専門分野

老年看護学

担当授業

ライフステージと発達看護論	春
老年発達援助論	春
老年発達援助実践	秋

意気込み授業 老年発達援助実践

老年期にある人が身体・精神・社会的にその人らしい成熟を継続することについて学ぶ機会となる、施設実習の科目です。実習先は特別養護老人ホーム・介護老人保健施設・小規模多機能型居宅介護のいずれか一か所です。学生が生き生きと、高齢者の健康と生活について理解し、健康に関わるケアサービスの場の特徴を知り、高齢者と家族に必要な援助を考え実施する能力を養うことができるようにサポートします。

専門分野にたどり着くまで

私は、インドネシア・フィリピン・ベトナムから経済連携協定という政策のもと来日した看護師たちが、日本の高齢者看護をどのように体験しているか、ということ調査しています。将来的に看護師が資格を活かして世界中を自由に渡り歩ける日が来たら面白いな、と私は考えています。

お気に入りの言葉 ベストを尽くす

好調なときも不調なときも、これでOK。



深堀 浩樹

HIROKI FUKAHORI

看護医療学部教授

専門分野

老年看護学、家族看護学、看護管理学

メールアドレス

fukahori@sfc.keio.ac.jp

担当授業

老年発達援助論	春
老年発達援助実践	秋
ライフステージと発達看護論	春
高齢者・家族援助論	春
老年看護論	春
老年専門看護演習（1年）	通
看護学合同演習	SFC 信濃町 通
高齢者健康生活評価法	秋
認知症高齢者看護演習	秋
老年期疾患治療論	秋
老年サポートシステム・制度論	秋

意気込み授業 老年発達援助論

超高齢社会を迎える日本で、高齢者の生活を支える看護・ケアの役割は重要性を増しています。看護学と将来的にコラボレーションしてみたいという方のご相談をお待ちします。

専門分野にたどり着くまで

現在の専門は、老年看護学・家族看護学・看護管理学です。大学時代に出会った何名かの先生方の活動や立ち居振る舞いに惹かれたこと、看護学分野の将来の発展の伸びしろを感じたことが看護学に惹かれたきっかけです。



藤屋 リカ

RIKA FUJIYA

看護医療学部専任講師

専門分野

国際保健

メールアドレス

rfujiya@sfc.keio.ac.jp

担当授業

ナーシングマネジメント論	春
今日の看護医療	春
ナーシングマネジメント実践	春
プロジェクトI (基礎)	春
プライマリーヘルスケアと国際保健I (開発援助論)	秋
プライマリーヘルスケアと国際保健II (海外研修)	秋
世界の医療・保健制度II (海外研修)	秋
性と生殖における健康と権利	秋
プロジェクトII (応用)	秋

意気込み授業 プライマリーヘルスケアと国際保健

「すべての人に健康を」を目指すプライマリーヘルスケアの思想と変遷を学び、健康に密接に関わる文化、社会、経済など様々な外的要因を含め、健康について包括的かつグローバルな視点から考えていきます。個人の問題としての健康や疾病だけではなく、構造的な社会問題から健康が脅かされている状況について理解し、その中で生きる人々の知恵や国際社会の取り組みや援助の実際を学び、自らの言葉をもって考えていきましょう。

専門分野にたどり着くまで

いのちに関わる分野で国際協力分野での仕事があったので看護の道を選びました。パレスチナで保健分野での国際協力活動に従事した経験をもとに、大学院で国際保健（グローバルヘルス）を学びました。個人の力だけでは解決が困難な構造的な問題の中で、生きる権利を奪われている人々が多いのが世界の悲しい現状です。グローバルヘルス分野での研究と発信の力が、健康にいきることにつながると信じています。



宮川 祥子

SHOKO MIYAGAWA

看護医療学部准教授

専門分野

ヘルスケア情報学

担当授業

看護情報リテラシー	春
情報とネットワーク	春
プロジェクトI (基礎)	春
プロジェクトII (応用)	秋
マルチメディア表現	秋
ヘルスケア情報学 ※2017年度情報	秋
看護情報学	秋

意気込み授業 ヘルスケア情報学

ヘルスケアは、これまでの病院中心の医療から、一人ひとりの生活を中心にした健康マネジメントへと変化していきます。IoTやAIなどの活用も期待されていますが、より良いヘルスケアの実現のためには、技術のみではなく、ヘルスケアの真の情動的課題とは何か、を掴むことが重要です。

専門分野にたどり着くまで

情報とは不確実性を減らすものである、というのはシャノンの有名な定義ですが、現在の社会における情報は、むしろ不確実性を拡大させる文脈でも使われているようです。良い情報はすぐれた意思決定につながる、という大前提も、複雑に利害の絡み合う社会の中で影を薄くしています。ただ、それでもなお、情報を選別して活用することがより良い意思決定のための足がかりである、という思いを持ちつつ研究を続けています。

その他

食いしん坊です。和食が好き。好物は松葉昆布。お茶漬けにすると美味しい。



山内 慶太

KEITA YAMAUCHI

看護医療学部教授

専門分野

医療経済学、医療政策・管理学、精神医学、塾史

担当授業

慶應義塾入門	春
心身ウェルネス	通
精神病態学総論	SFC 信濃町 秋
精神病態学各論	信濃町 春
医療と経済	秋
世界の医療保健制度Ⅰ（比較制度論）	秋
健康論	秋
ヘルスアウトカム評価論	秋
医療政策・管理学	信濃町 秋
健康マネジメント概論	春
健康マネジメント合同演習	通
健康マネジメント特論Ⅰ	春
健康マネジメント特論Ⅱ	秋
フィジカルアセスメント	信濃町 春

意気込み授業

ヘルスアウトカム評価論

ヘルスサービスの質の評価の方法論などを講義しています。バックグラウンドが多様な健康マネジメント研究科の院生に対して、それぞれの問題意識を大切にすると共に、それが混じり合うことで教育効果が大きくなるように留意しています。SFCが開設の時から大切にしていた学際性をますます大切にしたいものです。

専門分野にたどり着くまで

医学部の学生の頃から、医療と社会との接点の領域に関心を持って今に至っています。精神科医としては支払方式ならびに職場のメンタルヘルス・人事労務管理について関心を持って多くの実務と研究を進めてきました。一方で、研究指導においては、学生それぞれの問題意識に基づく独自のテーマで取り組むことを大切にしています。その結果、様々なテーマ・アプローチで実に興味深い研究がなされ、それらが次第に相互につながってきています。

座右の銘

信の世界に偽許多く、疑いの世界に真理多し
（『学問のすゝめ』の一節）



山本 亜矢

AYA YAMAMOTO

看護医療学部専任講師（有期）

専門分野

基礎看護学、看護教育学、WOC看護

担当授業

医療支援技術 — 創傷管理技術	春
看護基本技術	春
生活援助技術【2編】	春
生活援助技術	秋
基礎看護ケア実践Ⅰ（看護活動の実際）	秋
基礎看護ケア実践Ⅱ（生活援助）	秋

意気込み授業

創傷管理技術

病院から在宅にいたるまで、高齢患者が増えています。高齢者のケアを提供する看護師にとって、日常生活を支援するためのケアは必要不可欠です。特に、創傷や褥瘡の予防と治療は、基本的な皮膚の解剖生理に関する知識と創傷治療のメカニズムを理解することが重要です。医師との連携も多いこの領域の知識と技術を習得し、基本的なケア実践を提供できる看護学生を育てていきたいと考えています。

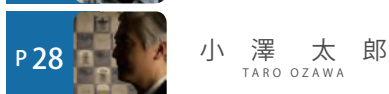
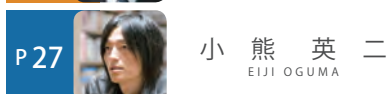
専門分野にたどり着くまで

WOCナース（皮膚・排泄ケア認定看護師）として、これまで看護師の褥瘡管理・教育に関する研究を行ってきました。看護師に予防的スキンケア方法も含んだ褥瘡管理教育を行うことで、看護師のケア実践能力が向上し、褥瘡発生率が低下することが、看護の質向上、高齢者の予防疾患対策に貢献できると考えています。

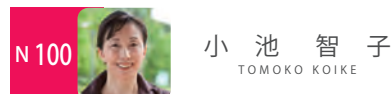
index

索引 (教員)

あ

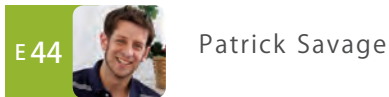


か



さ





E44 Patrick Savage



P45 清水 唯一朗
YUICHIRO SHIMIZU



P46 白井 さゆり
SAYURI SHIRAI



M47 白井 裕子
YUKO SHIRAI



P48 神 保 謙
KEN JIMBO



P49 新保 史生
FUMIO SHIMPO



N103 杉本 なおみ
NAOMI SUGIMOTO



M50 鈴木 寛
KAN HIROSHI SUZUKI



E51 諏訪 正樹
MASAKI SUWA



N104 添田 英津子
ETSUKO SOEDA



E52 曾我 朋義
TOMOYOSHI SOGA

た



P53 高木 文也
TAKEYA TAKAGI



E54 高汐 一紀
KAZUNORI TAKASHIO



E55 武田 圭史
KEIJI TAKEDA



N105 武田 祐子
YUKU TAKEDA



H106 武林 亨
TORU TAKEBAYASHI



M56 田中 浩一郎
KOICHIRO TANAKA



E57 田中 浩也
HIROYA TANAKA



P58 鄭 浩瀾
HAOLAN ZHENG



M59 東海林 祐子
YUKU TOUKAIRIN



E60 富田 勝
MASARU TOMITA

な



E61 内藤 泰宏
YASUHIRO NAITO



E62 中澤 仁
JIN NAKAZAWA



N107 永田 智子
SATOKO NAGATA



E63 仲谷 正史
MASASHI NAKATANI



E64 中西 泰人
YASUTO NAKANISHI



E65 中浜 優子
YUKO NAKAHAMA



P66 中山 俊宏
TOSHIHIRO NAKAYAMA



P67 西川 葉澄
HASUMI NISHIKAWA



P68 野中 葉
YO NONAKA

は



E69 萩野 達也
TATSUYA HAGINO



E70 長谷部 葉子
YOKO HASEBE



E71 服部 隆志
TAKASHI HATTORI



E72 濱田 庸子
YOKO HAMADA



N108 平尾 美佳
MIKA HIRAO



P73 平高 史也
FUMIYA HIRATAKA



P74 廣瀬 陽子
YOKO HIROSE



N109 深堀 浩樹
HIROKI FUKAHORI



E75 藤井 進也
SHINYA FUJII



E76 藤田 護
MAMORU FUJITA



藤屋 リカ
RIKA FUJIYA

ま



増井 俊之
TOSHIYUKI MASUI



松川 昌平
SHOHEI MATSUKAWA



水鳥 寿思
HISASHI MIZUTORI



水野 大二郎
DAIJIRO MIZUNO



三 次 仁
JIN MITSUGI



宮 垣 元
GEN MIYAGAKI



宮川 祥子
SHOKO MIYAGAWA



宮代 康文
YASUTAKE MIYASHIRO



宮本 佳明
YOSHIAKI MIYAMOTO



村 井 純
JUN MURAI



村 林 裕
YUTAKA MURABAYASHI



森 さ ち 子
SACHIKO MORI

や



矢 作 尚 久
NAOHISA YAHAGI



山 内 慶 太
KEITA YAMAUCHI



山 口 真 吾
SHINGO YAMAGUCHI



山 本 亜 矢
AYA YAMAMOTO

わ



和 田 龍 磨
TATSUMA WADA



渡 辺 賢 治
KENJI WATANABE



渡 辺 光 博
MITSUHIRO WATANABE



藁 谷 郁 美
IKUMI WARAGAI

index

索引（専門分野別）

英

3D/4D プリンティング	57
ICT システム海外輸出戦略	89
International Business	42
International Entrepreneurship	42
Internationalization Strategy	42
Strategy for value-based healthcare delivery	88
System Design	88
System Strategy	88
Web 技術	69
WOC 看護	113

あ

アーバンコンピューティング	64
アイヌ語とアイヌ語口承文学	76
アジア太平洋の安全保障	48
アメリカ政治・外交	66
アルゴリズムック・デザイン	78
アンチエイジング	92
アンデス諸国	76
アンデス人類学	76
異言語・異文化間コミュニケーション	70
移植看護	104
移植コーディネーション	104

遺伝子情報処理	60
遺伝看護	105
異文化コミュニケーション学	103
意味的連想検索	36
意味論	25
イランを中心とする西アジア（中東） 地域の国際関係とエネルギー安全保障	56
医療イノベーション政策	50
医療経済学	112
医療コミュニケーション学	103
医療政策・管理学	112
インクルーシブデザイン	80
インドネシア	68
ウェブレット解析	35
運動学習と制御	30
運動生理学	20
英語教材	70
栄養医学	92
疫学	14, 106
エネルギー・デザイン	24
遠隔教育	70
欧州経済	46
応用言語学	65
大江健三郎	76
オーラル・ヒストリー	45
オペレーティングシステム	85
音楽	44
音楽神経科学	75
音楽身体科学	75
音楽と脳	75
音楽の知覚・認知	75
音楽家の身体運動	75

か

外国語教育	93
家族看護学	109
学校精神保健	72
ガバナンス	50
カリキュラムデザイン	70
がん看護	105
がん看護学	101
環境学	47
環境保健	106
看護管理	100
看護管理学	109
看護教育学	113
看護政策	100
感性データベース	36
がん代謝	52
漢方医学	91
緩和ケア	101
器械運動コーチング	79
機械工学	26
機械力学・制御	26
企業の経営戦略	19
気候変動	40
技術基準・基準認証制度	89
気象学	84
基礎看護学	113
機能的類型論	25
急性期看護	105
旧ソ連地域研究	74
教育政策	50

教授法	70
行政改革	19
金融情報システム	43
金融政策	46
クラウドネットワークロボティクス	54
経営情報システム	41
景観	17
景観生態学	18
景観計画学	18
経験デザイン	64
経済社会学	82
警察学	23
計算機科学	71
計算工学	81
刑事司法	23
計測工学	63
軽量・極限建築	24
計量経済学	90
ゲーム理論	28
健康政策	14
健康科学	98
健康情報とコミュニケーション	14
言語学	25
現代社会と宗教	68
現代東南アジア研究	68
建築	15
建築設計	78
憲法	49
公共経済学	28
公共財の社会制度分野	47
公共選択論	28

公衆衛生	14, 106
コーカス	74
コーチング	59
国際安全保障論	48
国際開発協力政策・開発の人類学	76
国際関係論	33
国際金融	46, 90
国際疾病分類	91
国際政治	66, 74
国際保健	110
コミュニケーション学	103
コミュニケーション教育学	103
コミュニケーションデザイン	51
コミュニケーション論	31
コミュニティ論	82
コンピューター・サイエンス	44
コンピュータコミュニケーション	85
コンピュータネットワーク	62
さ	
災害科学コミュニケーション	21
災害情報	21
在宅看護学	107
サイバーセキュリティ	23
山林から木材・木造に至る分野	47
地震学	21
システム生物学	60
システム・ソフトウェア	69
システムソフトウェア	34
自然計算	12
持続可能科学	40

失音楽症	75
質的研究法	102
自動車工学	26
社会安全政策	23
社会学	82
社会言語学	53, 73
社会ネットワーク論	82
塾史	112
小児看護学	102, 104
消費者研究	39
情報政策	50
情報セキュリティ	55
情報通信政策	89
情報デザイン	64
情報法	49
女性とイスラーム	68
触覚	63
神経科学	20
人工知能	51
人工知能（自然言語処理）	89
人工知能（社会課題解決型）	89
侵入検知	55
心理学	44
新領域法学	43
人類学	44
スペキュラティヴデザイン	80
スポーツ工学	22
スポーツ心理学	30
スポーツ整形外科	97
スポーツ政策	50
スポーツバイオメカニクス	22

スポーツビジネス	86
政策形成過程	50
政治哲学	83
精神医学	72, 112
精神分析学	72, 87
生体計測	22
生体工学	97
生命情報科学	60
生命の起源	12
セキュリティアーキテクチャ	55
設計	17
設計支援	64
設計プロセス論	78
先端生命科学	60
戦略研究	28
造園の計画	17
造園学	18
創造活動支援	64
ソーシャル・イノベーション	50
ソーシャルロボティクス	54
ソフトウェア科学	69
ソフトウェアセキュリティ	55
た	
代謝疾患	92
多感覚統合	13
談話分析	25
地域イノベーション	16
地域看護学	96, 99
地域再生	19
地域情報化	16

地球システムガバナンス	33
地形	17
地上デジタル放送システム	89
地図などの研究と表現	17
地方政府論	29
中国近現代史	58
中国地域研究	58
聴覚フィードバックシステムを用いた運動学習とリハビリテーション	75
朝鮮語学	53
地理	17
地理教育	17
地理情報科学	40
定性的調査法	31
第二言語習得研究	65
データサイエンス	29
データベース	34
デザイン工学	57
デザインサイエンス	51
デザインリサーチ	80
デジタル・ヒューマンティーズ	44
デジタルファブリケーション	57
電波政策	89
ドイツ語	93
ドイツ語教育	73
ドイツとフランスの都市計画分野	47
ドイツ文学	93
都市・地域環境	40
都市工学	47
都市設計	15
ドラム	75
トランザクション処理	34

な

日米関係	66
日本経済	46
日本語教育	73
日本政治外交論	45
日本の安全保障政策	48
日本文学	76
乳幼児精神医学	72
人間工学	30
認知科学	51
脳機能計測	13
脳情報学	13
脳信号処理	13
農村計画学	18

は

バイオインフォマティクス	60
バイオテクノロジー	60
バイオメカニクス	97
発生物学	32, 38
非営利組織論	82
東アジア地域主義	48
膝関節外科学	97
ヒトの音楽性の進化・発達の起源	75
ヒューマンインタフェース	64
ヒューマンロボットインタラクション	54
病態科学	98
ファッション	80
ファミリービジネス	16
フーリエ解析	35

複雑系	12
プラットフォームデザイン	16
フランス語教育	37, 67
フランス哲学・思想	83
フランス文学	37, 67
文化的進化	44
分散システム	62
分子進化学	32
分子生物学	32
分析化学	52
紛争・平和研究	74
平和構築と予防外交	56
ヘルスインフォマティクス	91
ヘルスケア社会システム戦略論	88
ヘルスケア情報学	111
ヘルスサイエンス	92
方言学	53
防災・減災 ICT システム	89
防災教育	21
ポスト・シリコン・コンピューティング	12

ま

マーケティング	39
マクロ経済学	90
マルチデータベースシステム	36
マルチメディア・データベース	36
マルチモーダル脳情報処理	13
マレー・インドネシア語教育	68
慢性看護	101
ミドルウェア	62
ミュージアムマネジメント	19

無線応用	81
無線計測	22
無線通信	81
メタボロミクス	52
メディア論	31
モバイルコンピューティング	64
森と水の環境システム分野	47

や

ユーザインタフェース	77
ユビキタスコンピューティング	54, 62, 77
予防医学	92

ら

ライフスキルプログラム	59
ラテンアメリカ研究	76
ランドスケープアーキテクチャ	17
Lie 群上の調和解析	35
リズム	75
リズム感の個人差	75
緑地	17
理論生物学	61
林業の技術開発分野	47
臨床看護学	105
臨床心理学	87
歴史社会学	27
老年看護学	108, 109

募集

KEIO SFC REVIEW
新企画

SFC 川柳

みんなとつくる KEIO SFC REVIEW

悪臭も 4年経つと 香ばしい

國枝 孝弘 総合政策学部教授

みなさんからみえる SFC ってどんなところですか？

先進的？田舎？変人の巣窟？

そんなツッコミどころ満載な SFC をテーマにした川柳を募集します。

優秀者の作品は次号 68 号にドドンと掲載！

たくさんのご応募お待ちしております。

募集期間 2018年11月1日～2019年1月31日

対象 SFCの学部生・大学院生・教員・職員のみなさん

応募の手順 下記のサイト内、応募フォームに入力



<http://gakkai.sfc.keio.ac.jp/survey7/>

NEXT ISSUE No.68

SFC バイオと鶴岡キャンパス

次号(68号)では、山形県の鶴岡を中心に特集します。山形県鶴岡市は、富田勝環境情報学部教授を所長とする慶應義塾大学先端生命科学研究所があるなど、「バイオ」に特化した研究を行っています。SFCにいただけでは知ることのできない「鶴岡」の魅力をぜひお楽しみください。

募集

今の未来を伝える広報誌
編集委員募集



学生主体で編集しています。

デジタル化が進む今日。ふと思えばバスや電車の中で新聞を開く姿を見かけることは少なくなりました。スマートフォンを片手に持てばなんでも情報が得られる時代。便利なようでもどこかつまらない気がする。

そんな中 KEIO SFC REVIEW は紙媒体の良さを生かし、先進的であるがゆえに理解の難しいところもある SFC を多くの人にわかりやすく伝えてきた。

REVIEW の編集委員としての経験を通して見えてくる SFC もあるだろう。

活動内容

- ・企画の立案
- ・SFCの教員・卒業生・学生への取材
- ・記事の編集
- ・レイアウトデザイン

募集要項

下記のメールアドレスに、「氏名」、「学年」、「学部」、「電話番号」、「メールアドレス」を記して送信してください。

問い合わせ先: keio-sfc-review@sfc.keio.ac.jp



Please follow us : @ KEIO SFC REVIEW

次号情報や活動情報を Twitter で配信

編集後記

2011年まで冊子版「教員プロフィール」が刊行されていたのはご存知でしょうか。私は今でもその冊子をデスクに置き、ときおり手に取ることがあります。

紙の本が世の中から消えつつある今日、あえて紙の本としてSFC REVIEW版「教員プロフィール」の制作に踏み切りました。教員、職員、学生、そして未来のSFC生、それぞれ利用目的は異なると思いますが、皆様にとって役に立つ一冊になればとSFC REVIEW編集部はこの夏、全力で編集に取り組みました。

教員の方々の魅力が詰まった一冊をご高覧いただけましたら大変嬉しく思います。そして、本誌をきっかけに、「SFC REVIEW」の存在を知っていただくことができれば幸いです。

最後になりますが、ご協力いただきました教員の皆様に、心より御礼申し上げます。

事務局 田坂 真美

湘南藤沢学会

発行人 桑原 武夫 (会長・総合政策学部教授)

担当幹事 國枝 孝弘 (総合政策学部教授)

編集担当 田坂 真美 (事務局)

編集長 藤井 咲妃 (環境情報学部3年)

編集委員 清水 拓磨 (環境情報学部1年)

長尾 佳寿美 (総合政策学部1年)

遠藤 隆太 (総合政策学部1年)

発行日 2018年10月31日

発行所 慶應義塾大学湘南藤沢学会
〒252-0816 神奈川県藤沢市遠藤 5322
0466-49-3437
<http://gakukai.sfc.keio.ac.jp/>
keio-sfc-review@sfc.keio.ac.jp

印刷

株式会社 ワキプリントピア
〒252-0815 神奈川県藤沢市石川6-26-19
0466-87-5811
<http://www.printpia.co.jp>



@KEIOSFCREVIEW

次号情報や活動情報を配信中

無断転載・複製を禁じます。

ご相談は慶應義塾大学湘南藤沢学会までお寄せください。

最新号およびバックナンバーをご希望の方は湘南藤沢学会までご連絡ください。